

第六回勸業諮問會日誌

佐賀縣內務部第五課

第六回勸業諮問會日誌

勸業諮問會題

- 一 輸出米検査規則改正案
- 一 米俵ヲ四才俵ト改メルコト
- 一 農會設置準則發布ノ件

會員氏名及席順

席順ハ抽籤ヲ以テ定メタリ

七番	高内 一郎	神埼 郡	十四番	山邊 濱雄	東松浦 郡
六番	勝屋 弘道	藤津 郡	十三番	花島 芳樹	西松浦 郡
五番	松田 茂致	佐賀 郡	十二番	田上 徳十郎	佐賀 市
四番	柳 圭一	養父 郡	十一番	重松 昌成	三根 郡
三番	南里 琢一	小城 郡	十番	深川 文十	佐賀 市
二番	志波 六郎助	神埼 郡	九番	稻富 藤一	杵島 郡
一番	西村 英光	佐賀 郡	八番	山邊 生芳	神埼 郡



第六回勸業諮問會日誌

勸業諮問會題

一 輸出米検査規則改正案

一米俵才四斗俵ト改ムル事

一 農會設置準則發布ノ件

會員氏名及席順

席順ハ抽籤ヲ以テ定メヌ

七番	島内 一郎	神埼 郡
六番	勝屋 弘道	藤津 郡
五番	松田 茂致	佐賀 郡
四番	柳 圭一	養父 郡
三番	南里 琢一	小城 郡
二番	志波 六郎助	神埼 郡
一番	西村 英光	佐賀 郡

十四番	山邊 漢雄	東松浦 郡
十三番	花島 芳樹	西松浦 郡
十二番	田上 徳十郎	佐賀 市
十一番	重松 昌成	三根 郡
十番	深川 文十	佐賀 市
九番	稻宮 藤一	杵島 郡
八番	山邊 生芳	神埼 郡



十五番	田代清	小城郡	廿六番	米倉經夫	佐賀市
十六番	菊地音藏	東松浦郡	廿七番	篠原與吉	東松浦郡
十七番	藤川義泰	藤津郡	廿八番	古川榮太郎	西松浦郡
十八番	眞木豊道	佐賀郡	廿九番	土山文九郎	小城郡
十九番	原十郎	西松浦郡	三十番	香月則之	小城郡
二十番	山本源三	西松浦郡	卅一番	鐘ヶ江正明	杵島郡
廿一番	富岡初三	藤津郡	卅二番	原田眞弼	杵島郡
廿二番	竹下以善	佐賀郡	卅三番	中野我明	佐賀市
廿三番	堤靜男	東松浦郡	卅四番	乘田嘉十	藤津郡
廿四番	多々良文太郎	養父郡	卅五番	堤又太郎	杵島郡
廿五番	篠原牧太	基肄郡	卅六番	江原貞晴	神埼郡

傍聴ノ爲メ參列セシ各郡市長ハ左ノ如ク
 基肄養父三根郡長 國高輝世 神埼郡長 相葉 一陽
 佐賀郡長 稻田穰 佐賀市長 石丸勝一

小城郡長 弓野俊夫 杵島郡長 石井晋一
 藤津郡長 田中高徳 東松浦郡長 袖山正志
 西松浦郡長 高須欽

明治廿八年二月九日午前十一時三十分

開會式

(田邊知事)場頭ニ起テ演告シテ曰ク列席ノ諸君ハ眼孔ヲ勤業上ニ注カレ博ク實檢セラレタル諸君ト御見立テ申シタル際ナレハ御苦勞ナカラ諮問案ニ對シテハ充分御答辨ナランコトヲ乞フ

會 頭 知事 田邊輝實
 説明員 屬 柳原善太
 書記 屬 關 誠一
 全 屬 福富方夫

全日午前十一時三十五分開會 着席員三十二名

會頭(田邊知事)開會ヲ令シ既ニ配付シタル諮問案中輸出米檢査規則改正ノ件ヲ諮問スル旨ヲ述ヘ且ツ明日明後日ハ休日及祭日ナレトモ引續キ開會セント欲スル旨ヲ述フ

四番(柳)本諮問案ハ重要ナル事件ナルニ農會ノ爲メ出佐實シ居タルヲ以テ諮問案モ漸ク本日落手シタル位ニシテ未ク如何ナル考案モ付キ兼ヌルヲ以テ本日ハ開會式ノミニテ止メ明日明後日ヲモ休會アラントシテ希望ス

二番(志波)四番ノ通り此諮問案ハ重大ナルヲ以テ充分考慮ヲ要セザルヲ得ズ然ルニ農會ナリ茶業會ナリノ爲メ諮問案モ漸ク本日落掌セリ故ニ明日明後日ヲモ休會アラントシテ乞フ

八番(山邊)四番等ノ説モアレモ本諮問案ノ得失ヲ論スルニ當テハ或ハ熟考ヲ爲サレテ得ザル向キモアラシカ本日本開會式ノミニシテ開會ヲ熟考スルハ事足りナン時日ヲ空費スルハ本意ニ非ス故ニ明日ヨリ開會アラントシテ乞フ

廿七番(篠原)八番ニ賛成ス

會頭(田邊知事)曩キニ申シタル通り可成休日祭日ヲモ開會シタキ希望ナルカ四番二番ヲモ本日本休會シ明日ヨリ開會シテハ如何ニヤ

四番(柳)成程八番ノ説モアリ本日本休會スレバ多少ノ考案ヲモ付クベケレモ本員ノ如キハ農會事務未ダ結了セサルヲ以テ本日本休會ニテハ考案ヲ付スヘカラス故ニ明日明後日ヲモ休會セラレタマフ

卅二番(原田)四番ヨリ發言セラレタル如ク本員ニ於テモ漸ク本日本諮問案ヲ落手シタレバ何トモ考案付

キ兼一兩日ハ考慮時日ヲ與ヘラレタキ希望ナルカ明日休會シ明後日ヨリ開會セラレタマフ

九番(稻富)會頭ノ御示ノ通り明日明後日ハ休會スルト明日一日休會スルトノ兩説アルガ今回ノ諮問會ハ農會開會ト同時ニ發表セラレタルモノト見ヘ諮問案モ本ト拜受セリ然ルニ本案ニ對シテハ町重ニ町重ヲ加ヘ答辨セサルヲ得サル事ナレバ明日明後日ノ兩日ハ考慮時日トシテ休會セラレントシテ乞フ特ニ傳聞スル處ニ依レバ本諮問會員中農會ニ關係アル諸君ハ假令開會アルモ農會殘務上ニ付出席スルヲ得ズト折角ノ諮問會ニ欠席者アルハ甚ダ欲セサル所ナレバナリ

會頭(田邊知事)明日明後日開會スルモ農會ノ殘務等ニテ欠席者アル儀ノ事ナレバ強テ開會スルノ必要モナシ故ニ明日明後日ハ休會シ來ル十二日ヨリ開會ノ事ニセン其通り御承知アレ又諮問案ハ一應朗讀セシメ質議ハ本日ナシ置ハ考慮上利益アラシカ或ハ此儘開會スルトセンカ如何ニスルヤ

二番(志波)質議ハ本日爲シ置キタマフ

書記諮問案ヲ朗讀スル左ノ如シ

諮問案

輸出米検査規則

第一條 輸出米トハ縣下產出ノ米ヲ他府縣又ハ海外ニ輸出スルモノヲ云フ

第二條

輸出米ハ左ノ各所ニ検査所ヲ置キ検査ヲ爲スヘシ
何所(検査所地名ハ本案検査費收支豫算方法書
ノ内ニ記載セシヲ以テ茲ニ略ス)

第三條

検査所増設ノ必要アルハ縣廳ノ認可ヲ經テ検査派出所ヲ置ク事ヲ得

第四條

輸出米検査方法ハ輸出米會ニ於テ議定シ縣廳ノ認可ヲ受クベシ

第五條

輸出米會議員ハ每郡府ニ於テ改良米組合米商組合ヨリ各二名ツ、撰出シ聯合會ヲ開設スヘシ

第六條

輸出米ヲ爲スモノハ總テ検査所ノ検査ヲ受ク可シ

第七條

輸出米検査所ナキ地ヨリ輸出セントスルハ最寄検査所ニ申告シ所員ノ派出ヲ請ヒ検査ヲ受クベシ

第八條

輸出米ヲナスモノハ總テ検査所定規ノ手数料ヲ差出スヘシ

第九條

各検査所ニ検査人及補助員ヲ置クヘシ其検査人及補助員ハ第五條ノ職員ニ於テ撰定シ縣廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十條

各検査所ヲ統轄スル爲メ佐賀市ニ事務所ヲ置キ所長何名巡察何名ヲ受クヘシ其所長巡察ハ第五條ノ職員ニ於テ撰定シ縣廳ノ認可ヲ置クヘシ

第十一條

縣廳ニ於テ所長又ハ巡察ヲ不適當ト認ムルカ又ハ不都合ノ行爲アルハ改撰セシムルコトアルベシ

第十二條

本則第六條第七條ヲ犯シタルモノハ……………二處シ又ハ……………ニ處ス

說明

輸出米検査ハ現時各郡規約ニ依リ實施シツ、アルモ検査ノ方法區々ニ陥リ均一ヲ缺ク尠カラズ其結果市場ノ信用ヲ傷フニ至ルモノハ畢竟規約完全ナラサルカ爲メ之ニ伴フテ検査人其人ヲ得難キト費用ノ欠乏ヨリ生スルモノトス故ニ縣下一ノ規約ヲ確守シ完全ノ検査ヲ爲スルハ信用ヲ復シ利益ヲ收ムルヲ得ヘシト認ム依テ左ノ検査收支略表ヲ示シ本案ヲ改セントスルモノナリ

佐賀縣輸出米検査費收支豫算方法

一金四千五百八拾貳圓

支 出 高

但輸出米検査費

此 際

金千六百拾四圓

但各検査所ヲ統轄スル爲メ輸出米検査事務所ヲ置ク其事務費

内

金百八拾圓

但所長一名給月拾五圓

金五百七拾六圓

但巡察六名給壹名月八圓

金八拾四圓

但書記一名給月七圓

金參拾圓

但所長一名巡回年三十日

金六百圓

但巡察一名年貳百日巡回一日金五拾錢

金四拾八圓

但小使一名給月四圓

金參拾六圓

但事務所家賃月參圓

金六拾圓

但雜費月五圓

金貳千九百六拾八圓

但各検査所費

内

金千九百貳拾圓

但検査人三十二名給壹名月五圓

金五百七拾六圓

但検査所三十二ヶ所家賃壹ヶ所月壹圓五拾錢

金參百八拾四圓

但右全雜費壹ヶ所月壹圓

金六拾四圓

但右全検査器壹ヶ所貳圓

金貳拾四圓
但見本米八俵

検査所	位置
養父郡	新 濱
神埼郡	詫 田
佐賀市	下 今 宿
佐賀郡	久 富
三根郡	江 見 津
佐賀郡	諸 富
小城郡	三 丁 井 樋
佐賀郡	相 應
小城郡	下 砥 川
杵島郡	住 ノ 江
佐賀郡	佐 賀 郡
神埼郡	神 埼 郡
佐賀郡	佐 賀 郡
佐賀郡	佐 賀 郡
小城郡	小 城 郡
神埼郡	神 埼 郡
佐賀郡	佐 賀 郡
小城郡	小 城 郡
牛 津	牛 津
浦 田 津	浦 田 津
住 吉	住 吉
六 角	六 角
六 角	六 角
廻 里	廻 里
多 良	多 良
境 原	境 原
早 津 江 津	早 津 江 津
西 今 宿	西 今 宿
高 尾	高 尾
田 代	田 代

杵島郡	高 橋	基 津 郡	田 代
藤 津 郡	濱 野	杵 島 郡	下 小 田
佐 賀 郡	神 野	藤 津 郡	下 小 田
西 松 浦 郡	伊 萬 里	養 父 郡	邊 田
杵 島 郡	馬 田	藤 津 郡	邊 田
東 松 浦 郡	濱 崎	東 松 浦 郡	邊 田
一 金 六 千 四 百 圓		收 入	高
佐 賀 縣 輸 出 米 平 均 一 ヶ 年 八 拾 萬 俵 ノ 檢 査 料			
一 俵 金 八 厘			
差 引			
金 千 八 百 拾 八 圓			
残 餘			

此内ヨリ検査人手費其他臨時費等四百圓以内支出見込ニシテ其他非常凶作等ノ爲メ積金トス
會頭(田邊知事)錯雜ノ恐レアルヲ以テ第四條迄ヲ質問アリマシ
二番(志波)他府縣又ハ海外ニ輸出スルモノヲ云フトアルカ是迄ハ其検査ノ手續ハ如何ナリヤ

番外(柳原屬)是迄ノ輸出米検査ハ各郡毎ニ規約ヲ設ケ一郡毎ニ検査スル丁ニナレリ序ニ參考ノ爲メ陳述セシ本縣ハ田地四萬九千八拾余町步ニシテ此收穫平均七拾五萬石昨年ノ如キハ八拾萬八千石余ノ收穫アリシナリ而シテ此内輸出セシモノ平均一ヶ年ニ八拾萬俵ノ多キニ達スル重要ノ物産ナルカ維新後藩ノ制限ナキ處ヨリ濫賣ノ弊ヲ生シ非常ニ聲價ヲ落シタリ故ニ明治廿一年輸出米検査規則ヲ發布セラレ検査スル丁トナリシモ其規約各郡區々ニシテ何郡ノ輸出米ト云フ様ノモノニテ肥前米トシテ輸出スル譯ニ至ラザルノミナラズ検査不齊分ニシテ手数料取リト云フ様ナモノトナレリ故ニ廿四年ニ尙獎勵ヲ加ヘ各郡ノ規約ヲ同一ナラシメ検査印章米ノ品位俵製モ一定シ各縣同様ノ検査ヲナストナリ先ツト通リノ手續ハ全備セシモ其實決シテ然ラス根本タル規約ヲ郡別ニスルヲ以テ各郡其經濟モ又異ナラサルヲ得ス爲メニ甲郡ヨリ乙郡ニ出スモ検査料ヲ徵收セザレバ其郡ノ經濟立タズ陸地マテ検査所ヲ設ケテ目下七十餘ヶ所ノ検査所ヲ見ルニ至リ故ニ緩カニ一ヶ月百俵ヤ二百俵ヲ輸出スル所ハ手数料一俵八厘ノ内凡ソ四厘ハ事務所費ニシテ四厘ハ検査人給料トナル割合ナレバ此等検査人ノ給料ハ一ヶ月金八拾錢内外ナレバ検査ニ打掛リ居ル譯ニモ至ラズ止ナク餘業ヲナサ、ルヲ得ス夫テ本人不在ノ時ハ家内ノモノ検査印ノミヲ押シテ手数料ヲ取ルノ有様ニテ完全ノ検査ハ出來サルナリ是ヲ以テ縣下一ツノ規約トシ検査所ヲ他府縣輸出ノ地ノミニ設ケ本案ノ方法ニ依リ検査スル丁トスレバ充分検査實行ヲ奏

スル丁カ出來ルモノト信認ス尙參考ニ陳述セシ此ノ検査カ充分實行出來ル譯ニハ馬關神戸堂島等各市場ニ格付平均一俵ニ付六錢九厘ヲ増ス割合ニテ輸出八拾萬俵トスレバ金五萬五千余圓ハ米價ヲ改良スルニ非ズ只注意迄ニテ年々此ノ如キ莫大ノ利益ヲ得ル次第ナリ故ニ飽マテ此検査ヲ實行セシメン丁ヲ希望ニ堪ヘサルナリ

二番(志波)甲ノ郡ヨリ乙ノ郡ニ送ルハ検査ヲナサズシテ單ニ海外輸出スルモノノミヲ検査スルノ意ナルカ番外(柳原屬)海外及他府縣輸出米ノミヲ検査スルモノニシテ是迄縣下ノ検査所七拾余ヶ所ナルカ縣下通シテ検査スルニ於テハ其検査所ヲモ余程減少シ其検査ハ却テ周到ニシテ検査洩レ等ノモノナキニ至ルノ積リナリ

會頭(田邊知事)外ニ質問ナケレバ第五條ヨリ以下ノ質問アリタシ

十八番(真木)改良米組合又ハ米商人組合ハ如何ニスルヤ佐賀郡ノ如キハ經濟上得失相償ハズ相聯繫シテ僅カニ維持セリト然ルニ輸出米ヲ分離スルニ於テハ維持上益々困難ヲ生スヘシ是等ハ如何ニスルノ積リナルヤ

番外(柳原屬)矢張改良米組合及米商人組合ハ規約ニ依リ成立セシモノナレバ從來ノ通り保存シ置クノ積リナリ

十八番 眞木 第五條ニ聯合會トアルカ此ノ聯合會ノ費則チ職員ノ旅費日當ノ如キハ豫算書中ニ見ヘサルカ如何ニスルヤ

番外(柳原屬)改瓦米組合米商人組合ヨリ二名ツ、撰出スル故別ニ費用ヲ設ケス

會頭(田邊知事)外ニ質問ナケレハ輸出米検査費收支豫算方法ニ付通シテ質問アリタシ

廿五番 堤 検査所ノ位置中二根郡新濱トアルカ養父郡新濱ノ誤リニハナキヤ又豆津ハ最重要ノ地ナルガ記録ナキハ如何ナル都合ノルヤ

番外(柳原屬)新濱ヲ三根郡トセシハ養父郡ノ誤リ又此ノ位置ハ單ニ參考トシテ掲ケタルモノナレバ第五條ノ職員ニシテ取捨スルハ敢テ差支ナシ

四番(柳)住ノ江ハ佐賀縣島ノ兩郡ニアルヤ

番外(柳原屬)佐賀郡ノ住ノ江ハ住吉ノ誤リナリ

十八番(眞木)一俵ニ付検査料八厘トハ精米モ玄米モ同一ナルヤ

番外(柳原屬)此迄ノ平均上八拾萬俵トナルモノニシテ精米玄米ノ區別ナシ

三番(南里六千四百圓)收入ナルカ兎作等ニ際シ輸出米ナキ時ハ此支出ハ如何スルヤ

番外(柳原屬)輸出米八拾萬俵トハ五ヶ年ノ平均ニシテ昨年ノ如キ兎作ニ際シテモ尙五拾萬俵ヲ輸出セ

リ故ニ一俵ノ輸出米ナキカ如キ兎作ハ容易ニナキ事ニシテ其殘金ノ内検査員手當等ヲ引去リタル残りハ積ミ置クノ豫算ナルヲ以テ稀レニ輸出米皆無ノ年一ヶ年位ヒアリト雖モ敢テ差支サルノ積リナリ
會頭(田邊知事)次ノ諮問案ニ移ラン
書記諮問案ヲ朗讀スルコト左ノ如シ

諮問案

一米俵ヲ四斗俵ト改ムルノ得失

説明

本縣田米一ヶ年平均八十萬俵トシ此船運賃宜俵拾錢ト假定シ貳拾四萬圓トナル然ルニ此ノ八十萬俵ヲ四斗俵トナストハ六十八萬俵ニシテ差引拾貳萬俵ヲ減ス然ルトハ此船運賃參萬六千圓ハ年々利益ヲ得ルノ割合ナリ

二番(志波)四斗俵ニ改ムル事ニ就テハ他府縣ニ於ケル適否ノ實例等取調アラハ御示ヲ乞フ
番外(柳原屬)其適否ニ別段取調ハアラサルモ四十五縣中三斗臺ノ俵ヲ造ル處ハ八ヶ縣ニシテ五斗臺ノ俵ヲ造ル所モ五六ヶ縣アリ其他ハ皆ナ四斗臺ノ俵ヲ造ルモノナリ此ノ多數ノ縣ニ於テ既ニ行ハレツ、アルヲ見レハ其利益ナルコトハ知ルヘキナリ

二番(志波) 重テ質購ス四斗俵モ三斗俵モ其運賃ハ敢テ異ナルヲナキヤ
番外(柳原屬)然リ

卅一番(鎌ヶ江)一俵ノ運賃參拾錢トハ如何ナル算出法ナルヤ

番外(柳原屬)運賃ハ船ノ都合ニ依リ甚ダ高低アルモノニシテ目下ノ如キハ非常ニ騰貴セシ由ナルモ此
レハ其筋ノ商人へ問合セ數年ノ平均額ヲ示セシモノナリ

卅一番(鎌ヶ江)運賃參拾錢ノ成立ヲ承リタシ假令ハ朝鮮迄何程或ハ支那迄何程或ハ何々迄何程ト云フ
如キ運賃ヲ平均シタルモノナルヤ

番外(柳原屬)本縣輸出米ハ八拾萬俵アリテ其多數ハ神戸ニ輸送シ東京ハ拾萬俵ニモ足ラサル位ヒナリ
故ニ神戸迄ノ運賃ヲ示セシモノナリ

八番(山邊) 輸出米八十萬俵ノ事ナルガ本員ガ昨年輸出米監督會ノ砌リニ於テノ調査表ニハ六拾九萬六
百九拾俵ノ計算ニシテ之レハ他府縣輸出及神埼郡ヨリ佐賀郡ヘ佐賀郡ヨリ杵島郡ヘ輸入シタルモノモ
其内ニ加ハリ居ルモノナレハ實際上他府縣へ輸出スルモノノミヲ検査スル事トスレハ此ノ豫算數ヨリ
或ハ減少スルヲナキヤ

番外(柳原屬)今八番ノ質問ナルガ運送米ハ輸出米ニ算入スヘキモノニ非ラサルノミナラス規約上ニモ

規定シアルヲナレバ甲郡ヨリ乙郡ニ輸出スルモノモ算入シ二重トナルノ理ナシ又廿二年頃ハ或ハ六十
九萬余俵ナリシナランカ廿三年ニ於テ直接調査セシモノニ依レハ八十萬俵ヲ超過スルモ決シテ減スル
ヲナシ

八番(山邊) 番外ノ二重ニナラヌトハ甚ダ了解シ難シ廿二年廿三年廿四年ノ平均輸出米ハ十五萬八千五
百俵ニシテ此レハ神埼郡ノ總計ナルカ此ノ總計ニハ佐賀郡へ輸出シタルモノ或ハ養父郡又ハ三郡根等
へ輸出シタルモノヲ加算シタルモノナレハ實際上他府縣輸出額ト統計上ノ輸出額トハ異ナルヲ免レ
サルナリ

番外(柳原屬)八番ハ現ニ輸出米監督ノ任ニアレバ充分御承知ナランカ規約上ニ於テ二重ニナラサル
ハ明カナラン

七番(島内) 唯今八番ヨリ段々質購アリテ番外ヨリ質辦アリシカ八番ノ質購ノ主意ト番外答辨ノ主意ハ
齟齬ハシテ居ラヌカト思フ八番ノ質問ノ主意ハ甲郡検査所ニ於テ乙郡へ輸出スルノ際甲郡ニ於テハ輸
出米ノ俵數へ算入シ居ルモ實際ハ乙郡ニ於テ消費シタル等ノ事アルニ於テハ甲郡ノ輸出米俵數ハ實際
輸出シタル俵數ト云フヘカラスト云フノ意ナルカ如シ果テ然ラハ他府縣へ輸出スルモノノミヲ検査ス
ルトトスレハ此等ノ爲メ輸出米八拾俵ノ内幾分ハ減少セサルヤトノ疑念ヲ生セリ此等ハ如何ナルヤ

番外(柳原屬)甲郡ヨリ乙郡へ輸送スルカ如キハ津廻シトシテ夫々手續ヲナスモノナレバ輸出米中ニ算入シアルノ理ナシ故ニ輸出米八拾萬俵ヨリ減スルコトナシト思考ス

二番 蘇波濱出トカ或ハ他府縣輸出米或ハ他郡輸出トカ夫々取調ハ付キ居ルヤ

番外(柳原屬)運送米ノ如キハ調査付カズ輸出米八十俵トハ各輸出米監督ヨリ届出タルモノヲ平均シタルモノニシテ其俵出先ハ多ク神戸ナリ廿四年廿五年ハ監督ヨリ届出高ハ七十萬俵ナルモ堂島ノ賣買高

ヲ取調ヘタルニ其俵數ハ増加シ居レリ是レ検査手数料ヲ免レンカ爲メ無検査ニシテ輸出シタルモノナレバ検査周到精密ナルニ於テハ八十萬俵ノ輸出ヲ見ルハ決シテ難カラザルヲ信ズ

二十二番(竹下)從來ノ三斗四升俵ヲ四斗俵トナスハ其關係重大ニシテ輕々決スヘキモノニ非ス此俵製改良ハ輸出米ノミニ限ルモノナルヤ全体ノ俵製ヲ改良ルモノナルヤ

番外(柳原屬)他府縣輸出米ノミノ俵製ヲ改良ル考ナリ

九番 稻富 俵製ヲ改良ルハ單ニ運賃ノミノ利益ナルヤ他ニ神戸等輸出先ニ於テ利益スル處アルヤ

番外(柳原屬)俵製ヲ改良ルノ重ナル目的ハ運賃ニアリ海外輸出ノ時ハ袋ニ入レ替ユル者ナレバ取テ俵製ノ如何ハ關係セスト雖モ大坂ヨリ東京等ニ送ルニハ外包ヲナス位ナレハ俵製ノ精粗ハ其關係重大ニシテ其大小等ハ運送上少シモ異ナルコトナク一俵ニ付テノ運賃ナレバ俵製ノ改良ハ最モ急務ナリト信ズ

卅一番(鎌ヶ江)本題外ニ至ルヤモ知ラサレトモ關係シタル事ナレハ爰ニ質購シ置カノ輸出米検査規則ヲ改正シ單獨ナルモノトナスニ於テハ從來改良米組合米商人組合輸出米検査ノ三組織相關連シテ成リタルモノナルニ他府縣海外輸出米検査ヲシテ分離セシムルハ改良米組合米商人組合ハ關係ナシ特ニ此検査ニシテ周調ナルニ於テハ改良米商兩組合ハ存立ノ必要ナキカ如何ニヤ

番外(柳原屬)村農會成立シ輸出米検査充分行ハルハ、隨ニハ改良米々商人兩組合モ必要ナカルヘキモ今日ニ於テハ聯合會議員擧出等ノ必要アリテ全廢スルコト能ハサルナリ

會頭(田邊知事)此ノ案ハ簡單ナルモノナレバ次ノ案朗讀セシメン

書記諮問案ヲ朗讀スル左ノ如シ

一農會設置條例發布ノ得失

農會設置準則

第一條 農會ヲ分チテ村(町)農會、郡農會、縣農會、ノ三級トス

第二條 村(町)農會ハ一村(町)ヲ以テ一區域トス其區域内農業者及ヒ其區域内ニ土地ヲ所有スルモノハ總テ會員トス

第三條 郡農會ハ一郡ヲ以テ一區域トス其區域内ノ各町村農會ヨリ若干名宛ヲ選出セシメ之ヲ郡農

會ノ會員トス

第四條 縣農會ハ本縣ヲ以テ區域トス其區域内ノ各郡農會ヨリ若干名宛ヲ選出セシメ之レヲ縣農會ノ會員トス

第五條 會名ハ何々村(町)郡、縣農會ト稱ス

但シ現ニ農會ノ業務ヲ執行スル農業團體ハ此際成ルヘク會名ヲ改ムベシ

第六條 各農會ニ會長幹事其他ノ役員ヲ置キ會務ヲ處辨ス其役員中某々ノ職ヲ名譽職トシ某々ノ職ヲ有給職トスルハ其會ノ適宜トス

第七條 村(町)農會ノ費用ハ村(町)農會員ノ負擔トス郡農會ノ費用ハ各町村農會ノ分擔トシ縣農會ノ費用ハ各郡農會ノ分擔トス

第八條 各農會ニ於テ執行スル業務ハ其會ノ適宜ニ任ス

但シ其一二ヲ舉ケレハ左ノ如シ

- 一 農談會開設ノ事
- 一 試作場設置ノ事
- 一 米質改良ノ事

一 病蟲害豫防驅除ノ事

一 農產物品評會ノ事

一 種子交換會ノ事

一 立毛共進會ノ事

一 肥料共同購買農產物共同販賣ノ事

一 山林保護ノ事

一 農間ノ餘業ニ適スヘキ副產物及製造品調査ノ事

一 農具改良ノ事

一 勸勉貯蓄ノ事

一 農事統計ノ事

一 農事ニ關シテ官廳ノ諮問ニ應スル事

第九條 各農會附則ニ於テ規則ヲ確定シタルトキハ縣廳ノ認可ヲ受クベシ

第十條 各農會ニ於テ規則ヲ變更シタルトキハ其度々縣廳ノ認可ヲ受クベシ

說明

農事改良ノ必要ト方法ハ農事巡回教師設置以來一般農業者ノ漸次理解スルニ至リシ所ニシテ改良ノ實ヲ擧ゲタルモノ又鮮少ナラズ然レモ未ダ一般ニ普及セザルモノハ全ク個人ノ力ニハ限リアレバナリ乃農業者相結ビテ農會ヲ組織シ共同緝和以テ農事ノ改良ヲ企圖セバ功ヲ奏スル期ヲ待ツヘキカ之レ農會設置準則ヲ發布スル以所ナリ

會頭(日邊知事)第五條迄質議アレ

番外(柳原屬)此農會設置準則ニ付テ御參考迄ニ陳述セシニ各員既ニ御承知ノ通り農事巡回教師カ各郡ヲ巡回シ談話ヲナスモ一ツノ機關ナク獎勵上甚ダ差支爲メニ其必用ニ迫リ農會ヲ設ケタル所アリト雖其一部ニシテ全縣下一徹ノ農會設置ナク或ハ肥料ノ事共同苗代ノ事等試驗スルニ於テモ已人の試驗トナリ其成績充分ナラズ甚ダ遺憾トスル處ナリ故ニ此農會ヲ組織シ改良發達ヲ計畫スルニ於テハ其効果著シカルヘシ宜シク答辨アラフコトヲ乞フ

十二番(田上)第二條ニ土地ヲ所有スルモノヲ會員トストアルカニ町村ニ跨カリ所有スルモノハ如何ニスルヤ

番外(柳原屬)夫レ等ハ居村農會ヘ加入スルハ勿論ナレトモ尙其村ノ協議ニ依ルヘシ

十七番(藤原)第七條ニ村町經費ノ費用云々トアルカ一村内ニ於テモ都合ニ依リ部落ニ於テ農會ヲ組織

シアルモノ矢張三級ノ内ニ含蓄スルモノナルヤ

番外(柳原屬)一村ト云フモ大字數村合併シタルモノナレバ一部落ニ於テ組織スルモ敢テ差支ナシ

廿五番(篠原)第二條ニ土地ヲ所有スルモノハ會員トストアルカ一人ニシテ居住所又ハ他村ニ土地ヲ所有シ其關係ハ他村ニ多キモノアラン此等ハ自村農會ニ加入スヘキカ他村農會ヘ加入スヘキヤ

番外(柳原屬)村農會ノ協議ニ任スヘシ

會頭(田邊知事)外ニ質問ナケレバ第六條ヨリ終リ迄ノ質問アリタシ

九番(稻富)第八條ニ各農會ノ執行スル事項ノ内ニハ茶業及蠶業ノ事ハ記載ナシ此等ハ夫々組合アルヲ以テ農會ニ於テハ關係セサルノ精神ナルヤ

番外(柳原屬)本條ニアル如ク必要ノ事一二ヲ擧ケタルモノナレバ其他必要ノ件ヲ施行スルハ差支ナシ

四番(柳)第六條ニ各農會ニ會長幹事其他ノ役員云々トアルカ副會頭ハ設ケサルノ意ナルカ

番外(柳原屬)役員ニハ制限ナシ各農會ノ適宜ナルヘシ

七番(島内)第八條ニ各農會ニ於テ執行スル業務ハ其會ノ適宜ニ任ストアリ其業務ヲ適宜ニ任ズルハ病蟲害豫防ノ如キハ一村舉行スルモノ其効ナリ甲乙村ノミ施行スルモ其功ナク全管下皆ヲ施行スルニ非ラサレハ其功蹟ハ見ル能ハザルナリ此レ等モ矢張各農會ノ適宜ニ放任センカ決シテ農會ノ功蹟ヲ擧

クル能ハス故ニ此等ハ相當ノ制裁ヲ設ケサル可カラズ然ルニ此準則ニ依レハ一ツノ制裁ナク各農會ノ適宜ニ放任シアルカ如シ其精神ハ如何

番外(柳原屬)第八條ニ盡サ、ル處アルモ本條ニ列記セル項目ハ各農會ノ規約ニ掲ケシメ必ズ實行セシムルノ目的ニシテ其他ハ農會ノ適宜ニ任スル神ナリ

七番(島内)然ラハ其業務ハ其會ノ適宜ニ任ストアルハ文意ノ足ラサル處ニシテ第八條ニ掲ケタル事項ハ執行セシムルノ主意ナルヤ

番外(柳原屬)然リ

九番(稻富)立毛共進會トハ如何ナル事ナルヤ

番外(柳原屬)立毛共進會トハ福岡縣刀洗村ニ於テ現ニ實行シツ、アルモノニシテ農業改良上最モ必用ナル事ニシテ其方法ハ苗代ノ品評植付ノ品評出穂ノ品評等收穫迄其實地ニ付キ品評スルモノアリ

十七番(藤川)第八條ニ各農會ニ於テ執行スル業務ハ其會ノ適宜ニ任ス但シ其一二ヲ擧グレハ左ノ如キトアルガ農事改良上ニ就テハ随分多クアルヘシト思考セラル然ルニ此ノ準則發布ノキハ一々掲グルノ精神ナルヤ

番外(柳原屬)掲グヘキ必用ノ件ハ可成掲グルノ積リナリ

廿七番(篠原)農事統計ノ事トアルカ米其他ノ產出高ヲ統計スル意ナルヤ
番外(柳原屬)然リ

廿七番(篠原)然ラハ現時施行シアル通信統計表ト同一ノモノナルヤ

番外(柳原屬)現今ハ村役場ニ於テ統計調製シアルガ村役場ハ其地方人民ニ付キ取調ヲナスヘシ故ニ農會ニ於テ調査スルニ於テハ其統計モ確實ニ村役場ノ手數ヲモ省ク道理ナリ

會頭(田邊知事)外ニ質問ナキヤ質問ナケレハ之ニテ開會ヲ來ル十二日ヨリ始ムルトトカスヘキ旨ヲ告ク于時〇時十五分

二月十二日開會午前十時二十分着席二十九人

會頭(田邊知事)輸出米検査規則第一條ヨリ逐條ニ付議スルトトセン

廿四番(乘田)第一條ヨリ逐條審議アルノ前ニ於テ此ノ輸出米検査規則改正ノ得失即チ大体ニ付本案ヲ探ルヤ否ヤニ付審議アラソトナク

會頭(田邊知事)卅四番ノ請求ノ通り輸出米検査規則改正ノ得失ニ付テ議セラレヨ

卅二番(原田)一体此ノ輸出米検査規則改正ノ事ニ就テハ是迄ノ規則ニテハ完全カラザル見込ヲ以テ本會ヘ付議セラレタルモノナラシカ本員ハ未ダ其要點ヲ見出ズ、能ハズ然レモ此改正ノ要點ヲ推考スル

ニ一郡毎ニ検査スル如ク小ニシテハ充分ノ結果ナリ此レヲ全管下一般トシ其組織ヲ大ニセサレバ其功
果擧ラサルトノ意ナルベシ今其現況ニ付熟考スルニ検査充分行届カズ市場ノ信用ヲ失落スルニ至リ
モノハ其組織小ナルガ爲メニ非スシテ其規則ニ不完全ノ處アルヘシ此ノ組織小ナル今日ニ於テヌラ行
ハレサルニ於テハ其組織ヲ大ニスル曉ニハ愈々行レサルベシ故ニ其組織ハ現時ノ適ニシテ其規則不完
全ナル處ニ付テ宜シク加除更止シ其ノ完全ヲ期スヘキナリ

番外(柳原屬)令三十二番ハ輸出米検査ハ從來ノ規則改正スルノミニテ足レリトノ意見ヲ陳述セラレシ
ガ目下ノ検査所ハ七十ヶ所アリテ多クハ陸地検査所ナリ然シテ其検査所多キ割合ニ收入少ナク甲郡ヨ
リ乙郡ニ輸出スル米ヲモ検査スルニ至レリ從來ノ通りニナシ置クハ一郡ノ經濟立タズ爲メニ検査法
ハ益々粗漏ニ赴クヤ知ルヘシ如何トナレバ多數ノ検査所ノ内ニハ僅カニ十俵カ二十俵位ヲ輸出スルノ
テ所モアルニ検査人ノ收入ハ一俵ニ付三厘カ四厘位ヒナレハ其給料ハ甚々僅少ナルガ故ニ餘業ヲナシ
本人不在ノ時ハ家内ノモノカ印ヲ捺ス位ヒナリ故ニ七十ヶ所ノ検査所ヲ減シテ三十ヶ所トナス
ハ從テ其費用モ減シ又輸出少ナキヶ所モ平均シテ相當ノ給料ヲ與フルヲ得ルヲ以テ充分ノ検査ヲ行フ
ヲ得ヘキ見込ナリ

四番(柳)輸出米検査ニ關スル事ハ此ノ諮問案丈ニシテ外ニ詳細ノ検査規則ヲ發布ニナルノ見込ナルヤ

番外(柳原屬)本案ハ検査規則ヲアリテ其詳細ハ第五條ノ職員ニテ設ケシムルノ見込ナリ

四番(柳)然ラハ本員ニ於テハ本案ニ賛成ス如何トナレバ從來ノ検査法ハ各郡錯雜シ特ニ三郡ノ如キハ
姑息ノ事ノミ多キカ如キ考ヘモアリ然ルニ本案ノ通り改正シ佐賀市ニ事務所ヲ置キ充分監督スルハ
検査法モ蓄一ニ且ツ正確ナル事トナルヘキ見込ナリ

卅一番(鐘ヶ江)本員ハ從來ノ検査規則ニテ可ナリ本案ニハ不同意ナリ如何トナレバ現行ノ規則ニテ充
分行ハレ見込ナリ本員ハ廿一年以來輸出米監督ノ任ニ當テ居リシカ是迄ノ經歷ニ依ルニ番外ノ云フ
通り幾分ノ弊害ハアルモ主任者カ充分注意セハ可ナリ全体上ヨリ云ヘハ規則ハ不完全ナルモノニ非ス
當局者ノ注意足ラサルガ故ナリ又現行ノ他府縣海外へ輸出スルモノノ検査ハ一利一害アルヲ以テ他府縣
海外輸出ノモノハ必ス船積ノ際検査スルトスヘシ又職員擧擧法ハ不完全ナリ故ニ其一部ヲ改正スレハ
可ナリ又理事者ノ説明ハ誤レリ七十ヶ所ノ検査所ハ規則ニ定メタルモノニ非ス縣令ニハ三十ヶ所
ナリ七十ヶ所ノ多キ設置ヲ見ルハ實際上不得止其ヶ所ニ於テ必要ニ依リ増加シタルモノナリ然レモ
理事者ノ説明ノ通りナレハ其不用ノヶ所ハ減スルモ可ナリ又検査人ノ給料ノ如キ改正案ニ依レハ五圓
ト定メアルカ是又不可ナリ俵數ニ依リ支給スルノカ即チ道理上宜シキモノナリ又輸出米俵數ノ八十萬
俵ハ實際管内ニ於テ消費セシモノモ多少アルナリ故ニ實際ハ其俵數六十萬俵内外ナルベシ特ニ收支豫

算表ニハ從來ノ三斗四升俵ニテ計算シアルモ果シテ四斗俵トナスハ是又俵數ヲ減スルモノナレハ此豫算ハ實際ニ適セサルモノト信ス故ニ大体ニ於テ不賛成ナリ

番外(柳原屬)今某番ヨリ喋々陳述アリシカ検査所ノ如キハ成程縣令ニハ三十余ヶ所ナレトモ實際ハ七十余ヶ所モ有之其收入ハ所ニ依リ甚ダ僅少ニシテ實際検査出來兼ヌル事情ノレハ其通經濟トナスハ彼稅ノ便利ニシテ検査モ充分ナリ此儘ニテハ到底充分ナルノ見込ナシ故ニ是非改正シタシ

十三番(花島)本員ハ西松浦郡ニシテ輸出米監督ノ任ニ四五年從事セシカ輸出米ハ甚ダ少ナク管下同一經濟ニスル時ハ我郡ノ如キハ他ノ補助ヲ受クル難ナレハ本員ヨリ彼是レ申スハ如何ナレトモ早晚本縣ノ産米ノ品位一定スルハ甚ダ必要ナレハ是迄通りニ行ハントスレバ實際行ヒ難シ是レ其ノ俵數少ナキカ爲メナリ特ニ輸出米改良米組合米商人組合ノ三ツヲ並行スルニ依リ僅カニ行ハレ居ルモ若シ之レヲ各別ニスレバ到低行ハレサルナリ故ニ原案ヲ賛成ス

八番(山邊牛芳)本員ハ此ノ規則ノ改正ハ卅一番ナリ卅二番ナリニ同感ニシテ先ツ今日ニテハ同意スルヲ出來サルナリ如何トナレバ番外ノ説明カ當テ得ス輸出米ノ事ノミニシテ改良米組合米商人組合ノ如キハ服中ニナキカ如シ又實際ヲ得タルモノニ非ズ四斗俵ニスルハ十二萬俵ヲ減スルトアリテ收支ノ豫算ニハ矢張八十萬俵ヲ見テアル實ニ此レカ主意ニ違フナリ六十萬俵トセサルヘカラズ特ニ八十萬俵

ハ海外ニ輸出セズ此内ニハ管内ノモノモ入り居ルナリ然ノミナラズ三十余ヶ所ノ検査所ノ内ニ神野トアルカ停車場アルカ爲メ捕セラレタルモノナルベシ果シテ然ラハ神野停車場ヲ加入セサルヘカラズ又豆津崎村ノ如キモ入レサルヘカラズ五ヶ年前ニハ輸出米ニ西ヨリスルモノハ扇町東ハ高尾等ニテ水ヲ吹クノ惡習慣アリシカ今日ニ於テモ神野ニアリ此等ハ高米ヲ買入レ追々下落スル時ニ於テ升目ヲ増スモノナリ是等ハ充分米商人ヲ取締サルヘカラズ又聯合會員ハ改良米組合及米商人組合ヨリ撰出スルトアリテ兩組合存立セリ然ルニ米商人組合ノ如キハ新規營業或ハ廢業等願書ニハ事務所ノ與書ヲ要ス然ルニ事務所ハ佐賀市一ヶ所ナルカ各郡事務所ヲ廢スルト能ハズ左様ノ事ニテ實際運ハズ陸地検査所ハ經濟ノ立タサルカ爲メニ設ケタルニ非ズ改良ヲ爲サンガ爲メニ他郡ヘ輸出スルモノヲモ検査スルモノニシテ決テ手数料ノ爲メナランヤ此等更正ハ本年五月輸出米監督會ニ於テ其案ニ精キモノニ就キ協議ヲ遂ゲタル上ニ更正スヘキハ更正シタレ輕々ニ改正スルハ本員ノ採ラサル以所ナリ

番外(柳原屬)此豫算ハ現在ニ於テ計算シタルモノニシテ八拾萬俵ハ三斗四升ナリ是レ其實際ヲ得タルモノナリ決シテ未來ノ改正四斗俵ヲ以テ豫算スヘキモノニ非ズ果シテ四斗俵ニ改正スルニ於テハ其際検査料ヲ増加スルモ可ナリ又検査所ノヶ所ハ其重ナルヶ所ヲ示セシノミ

七番(島内)本員ハ改良ノ事ハ實地ニ立テ入りタル事ナケレハ其情實等詳知セサルモ本案ト現在規則

上ト説明等ニ付キ考フレハ第一條ノ成文モアリ又利益金等アリテ漸次蓄積スル事ニナリ愈々確立スルニ於テハ農者一般ニ利益スル所少カラサルヘシ又各郡ニ取締監督ヲ置キ検査ヲ嚴施シ以テ管内ノ米質ヲ改良セシムルハ誰ヲモ希望スル處ナリ故ニ本案ノ大体ヲ採ルモノナリ

十七番 藤川 本員ハ本案ノ通り改正スルハ尤モ必要ト認ム夫レ米ノ改良ハ改良米粗台米商人組合輸出米検査此ノ三ツノモノ相待テ改良ヲ計ルニナリ居レリ然ルニ其番ノ云ヘル如ク米商人ニ於テ輸出米ニ水ヲ吹キ自分ノ利益ヲ計ルハ其取締ノ行届カザルガ爲メナリ此輸出米検査ニシテ密分行ハルレハ改良米粗台及米商人組合規約ヲモ隨テ行ハレ易シト意思ス

九番(稻富)本員ハ輸出米検査規則ノ中各條項ニ就テハ多少意見アルモ大体ニ就テハ意見ナシ四番ニ賛成ス從來ノ通り各郡ノ經濟ニナサズシテ一縣内ノ經濟ニスルニ非ラザレハ萬事行キ届カサルノミナラズ検査上チモ無用ノ手数ヲ要スルナリ例令ハ杵島郡ニテ有田ヨリ小作米ヲ採ル時ニ際シテモ検査ヲ行ハサルヲ得ズ又其米ヲ他ニ輸出スル時モ検査ヲ要スル等ノ如キアリ甚タ不便ナルカ爲メナリ

會頭(田邊知事)外ニ意見モナケレバ之レヲ起立ニ問ハン

原案廢業説ニ賛成ノモノハ起立

六名
二十名

原按賛成ノモノ起立

原案賛成者多數ニ付大体ハ可決ス故ニ第一條ヨリ順次議セン先ツ第一條ニ付キ審議セラレヨ

卅二番(原田)番外ニ問フ第一條ニ他府縣海外ニ輸出スルモノトアリ縣下各郡ノ運送米ハ如何番外(柳原屬)是迄ノ各郡ニ於ケル輸出米検査ト同一ニシテ他府縣及海外輸送米ニ限リ検査スルナリ

卅二番(原田)今番外ヨリノ説明ノ如クナレハ運送米ハ検査セストアルガ正直ナル商人ノミナラバ差支ナカルヘキモ世ニハ奸商ナルモノアリ是等ノ防キヲ付ケサルヘカラズ假令ハ杵島郡ノ商人ト佐賀商人ト取引ヲナシ杵島郡馬田津ヨリ船積ヲナシ輸出米ニアラズ管内ニ消費スルモノニシテ佐賀へ送ルモノナリト云フキハ検査人ニ於テハ認メ付カサルヲ以テ其儘回送ヲ許スキハ直ニ長崎熊本等へ直輸スルモノナシトセズ此ノ取締法ハ如何ニスルヤ

番外(柳原屬)只今卅二番ノ述ラレタル如キモノハ津廻トシテ規約ニ於テ其取締法ハ充分付クヘキ見込ナリ

九番(稻富)縣下産出米ヲ他府縣へ輸出スルキハ勿論検査ズベキモ他府縣ヨリノ輸入米ニシテ再ヒ他府縣へ輸出スルキハ再ヒ検査スヘキヤ如何ン

番外(柳原屬)他府縣ヨリ本縣へ輸入シ再ヒ他府縣へ輸出スルモノハ非常ノ凶作ノ時ハ或ハアルヘケレト平常ハ決シテ其レ等ノ事ハナカルヘシ萬一アルモ縣下ノ産出米トハ云フヘカラズ九州各縣ニ於テモ

輸出米検査法へ行レ居ルナリ然レ結果シテ其検査カ確實ナルヤハ知ル可ヘカヲス現ニ福岡ノ如キモ設ケアルモ實際其検査ハ確實ナラサルガ如シ

九番(稻富)本員ハ第一條ハ原案ノ通りニテ他ニ意見ナシ

會頭(田邊知事)外ニ意見ナケレバ第二條ニ移ル

八番(山邊)第二條ノ検査所位置ノ内佐賀郡神野基肆郡田代養父郡鳥栖トアルカ神埼郡神埼養父郡中原ヲ除キアルハ如何ナル理由ナルヤ

番外(柳原屬)神埼、中原、ヲ除キシハ全シク停車場ナレトモ検査所ヲ設クル丈ノ輸出米ナシト見込ミ省タルモ一體第二條ノ検査所ノ位置ハ其最モ必要ナル見込ミヲ以テ掲ケシモノナレバ其他ニ必要ノケ所アラハ増加スルモ差支ナシ

十三番(花島)此ノ検査所位置ノ内ニハ我カ西松浦郡ノ分ハ伊萬里一ヶ所ナルカ從來設置シアル黒川ハ伊万里ヨリ三里波多津ヲ去ル三四里ナリ其他楠久及白幡ハ一里ナルカ是レ等ハ除クトモ黒川波多津ニハ設置シマシ

番外(柳原屬)段々述タル通り最迄ノ検査所ノ多數ハ手数料ヲ採ランカ爲メ設ケタル杯トノ惡評ヲ受ケタルカ此ノ改正検査法ニテハ充分ノ検査ヲナシ市場ノ信用ヲ回復シ價格ヲ擧グルノ積リナレバ検査所

少ナク幾分ノ不便ハアルモ受檢者ヨリ好シテ検査ヲ受ル機ナスノ積リナルヲ以テ假令検査所ノ數ノ少ナキモ敢テ差支サルノ見込ナリ

四番(柳)検査所ノケ所ニ付キ八番ノ述ヘラレタルカ中原ハ停車場ナルモ余リ必要ノケ所ニハ非ラサルガ如キモ神埼ハ大分輸出米アルノ見込又三郡ノ豆津ハ僅カノ輸出米ナルモ江口ハ余程輸出米アルノケ所ナレバ第二條検査所ノ位置ノ中ハ神埼ト江口ハ挿入シ置キマシ

三十二番(原田)検査所位置ニ付テハ我カ杵島郡深通ト云フ處アルカ此ノ處ハ高橋ヨリモ輸出米多シ成程第五條ニ規定アル議員ニ於テ増減シ得ルト雖モ見込アル個所ハ増加シ置キマシ

十七番(藤川)藤津郡ニ於ケル検査所ハ濱、多良、埴田ノ如キ東部ニ在ル船便ノ場所ハ設ケアルカ西部モ近年陸地輸出米増加シ嬉野ヨリ貳萬俵ノ輸出アルニ至レリ然レモ一纏リニ纏リタルモノニ非ス二十俵ナリ三十俵ナリ時々輸出ス故ニ派出検査ハ到底難事ナラン故ニ検査所ヲ設ケマシ

三番(南洲)小城郡ノ検査所ハ牛津、下砥川、三丁井樋トアルガ尙一本松ト云フ處ヲ加ヘマシ

廿二番(竹下)八番ノ述ヘタル通り検査所ノ位置ノ内ハ神埼中原ヲ増加シマシ

廿番(山本)白波多モ必要ノ場所ト考フルニ依リ検査所位置ノ内ハ加ヘラレマシ

卅二番(原田)杵島郡新橋、佐留志、大町、ノ三ヶ所ヲモ加ヘラレマシ

八番(山邊)神埼郡ニモ猶検査所ヲ設クヘキ位置ハアルモ第五條規定ノ議員ニ於テ定ムル丁トシ爰ニハ陳述セズ

九番(稻富)東部ノ各停車場ニ検査所ヲ設クル事トシ西部ノ方モ既ニ設ケラルヘキ各停車場ヲモ加ヘラレタリ

會頭(田邊知事)第二條ニ意見ナクテ第三條ニ移ル

會頭(田邊知事)第三條ハ簡單ナルモノナレハ第四條及第五條ニ移ル

卅二番(原田)第五條ニ輸出米會議員ハ每郡市ニ於テ改良米組合米商人組合ヨリ各二名ヲ選出スルトアルカ杵島郡ハ廿五年十二月ニ於テ改良米組合ヲ解ケリ故ニ此ノ文面ニ依レハ米商人組合ヨリ二名ハ撰定シ得ルモ改良米組合ヨリハ選出スルコト能ハズ甚ダ不都合ニ付改良米組合米商人組合ノ九字ニ更ユルニハ米商人ヨリト更正シタリ

卅四番(乘田)改良米組合米商人組合ヨリ二名ヲ選出ストアルカ甚ダ手續ヲ要スル事ト思考ス故ニ農會ヨリ選出スルコトシ改良米組合ヲ郡市農會ト更正シタリ

番外(柳原屬)杵島郡ニ改良米組合ノナキ理由ナシ各村ニ於テ組織スベキ管ナレバナリ

卅二番(原田)東西郡改良米組合ハ解除シ村々ニ於テ規約ヲ届ケ出ル管ナレモ其實ナシヨシ村々於テ施設

行シタルニモセヨ充分ナル能ハズ故ニ米商人云々ト更正スル以所ナリ

七番(島内)此ノ改良米組合ヲ變更シタリト説アレハ農會トカ改良米組合トガ同シキ様ナレトモ名ニ依テ異ナレリ農會ノ如キハ改良米ノミニテ農會ト名ケラレタルモノニモ非ス又米商人トハ甚ダ漠然ナリ特ニ改良米組合規則ハ實施中ナレバ規則ノ廢セラレサル限りハ改良米組合トスル方適當ナリ故ニ更正ノ必要ナシ

四番(柳)農會ヲ以テ改良米組合ニ更正スルナト發言セシモノアルモ第五條ニ關係スルモノニ非ス一ツノ團體組織ナリタル上ハ關係セサルヘガラサルモ今ヤ改良米組合ハ他府縣ニモ行ハレ本縣ノ如キ其規則ニ依リテ歴然タルモノアルニ於テハ原案ノ通りニテ然ルヘシ故ニ此改良米組合ナキ郡ハ夫々速カ出ニ來サルヘラズ故ニ原案ニテ足レリ決シテ更正ノ必要ナシ

八番(山邊)本員ハ第五條中ノ文字ノ事ナルガ其末文ニ聯合會云々トアルガ此三字ハ不用ニシテ却テ疑議ヲ生ス故ニ削リタリ

十三番(花島)番外ニ問フ各郡市改良米組合ハ如何シアルヤ

番外(柳原屬)規則ニ依リ各郡市トモ成立シ居ルナリ

卅一番(鐘ヶ江)第五條末文ニ聯合會トアルヲ刪除スルトノ發議モアルガ本員ハ存シ置キ且此レハ各

郡内聯合スルモノナレハナリ現時アル處ノ一郡ニ於テ各町村ヨリ選定シタル議員ヲ以テ組織シタルモノニ於テストラ何ニ聯合ト稱スルニ非スマ此三事ヲ存シ置クハ相當ナリ

九番(稻富)八番ノ聯合會ノ三字ヲ刪除スル説ニ賛成ス

會頭(田邊知事)最早意見モナキカ如シ故ニ念ノ爲メ起立ニ問ハン

卅二番ノ第五條輸出米會議員ハ每郡市ニ於テ米作人米商人ヨリ各々二名ツ、選定シ聯合會ヲ開設スルヘシト更正スル意見ニ賛成ノモノハ起立アレ

四名

卅四番ノ第五條ニ改良米組合米商組合ヨリ各二名ツ、選出スルトアルヲ郡市農會米商組合ヨリ各二名ツ、ヲ選出ストノ更正意見ニ賛成ノモノ起立アレ

シナ

卅二番卅四番ノ更止説ニ賛成者少ナキニ依リ原案ニ据ヘ置ク

八番ノ第五條末文ニアル聯合會ノ三字ヲ刪除スルノ意見ニ賛成ノモノハ起立アレ

九名

是又少數ニ付原案ノ通りニ決ス

外ニ異議ナケレバ第八條第九條ニ移ルトセン

八番(山邊)七條ニ付質問ス第一條ノ輸出米ヲ件島郡ノ住吉ヨリ長崎ヘ養父郡豆津ヨリ福岡縣ヘ輸出スルカ如キ僅少ノ者モ制裁ヲナスモノトスレハ其取締上甚ダ困難ナルヘシ又少數ナリトテ放任シ置クカ

如キ事アラハ大体ニ影響スヘシ此等ハ如何ニスルヤ

番外(柳原屬)可成派出シテ検査スルノ積リナキカ極少僅少ノ俵數ニシテ數十町ヲ行カサルヲ得サル如キハ營業者ノ困難一方ナラサルヘシ故ニ猶詳細ナル事ハ規約ヲ以テ定メシムルノ積リナリ

九番(稻富)検査補助員ノ給料ハ如何

番外(柳原屬)補助員ハ給料ヲ與ヘサルノ積リナリ所請補助ニシテ容易ニ欠席ナカルハヤト雖モ萬一ノ時ハ検査料ノ内ヨリ給セラレトナリ

會頭(田邊知事)外ニ意見ナケレバ第十條ヨリ第十二條迄ニ付議セラレタシ

十八番(真木)第十條巡察ノ數ハ若干名トアルカ理事者ノ考ハ何名位ナルヤ

番外(柳原屬)六名ノ積リナリ然レモ各意ノ意見ニ依ル見込ナリ

十八番(真本)巡察員六名ノ配置法ハ如何

番外(柳原屬)検査所又ハ輸出米多キ處ハ一郡少キ處ハ二郡ヲ受持タセル見込ナリ

十三番(花島)巡察員ハ矢張佐賀事務所ニ置ク見込ナルヤ

番外(柳原屬)平常ハ佐賀事務所ニ詰メ一ヶ月中二十日ノ巡回ヲナシ其他ノ余日ニテ事務ノ打合せ等ヲナサシムルノ見込ナリ

十三番(花島)本員ハ巡察員ヲシテ各郡中受持ヲ定メシテ所屬名ノ通り六名ヲシテ管内ヲ巡回セシムルニシタシ

番外(柳原屬)巡察員六名ニテ交ハル交ハル巡回セシメシカト一度ハ考タリシモ受持ヲ定メ置クキハ相互間ニ競争心ヲ發起シ却テ實効多カルヘシト思フ

卅二番(原田)巡察員ノ事ハ六名トスルモ五名トスルモ検査所ノ多寡ニヨリ定ムル方穩當ナラン故ニ左ノ但書ヲ設ケタシ

但検査所ノ狀況ニ依リ巡察員ヲ増減シ得

廿二番(竹下)番外ニ間フ所長ト巡察ノ職務權限ハ如何ナルヤ

番外(柳原屬)所長ハ事務所ニ在ツテ検査上萬般ノ事ヲ總理シ巡回ハ一二回ニ罷ギザルヲ以テ巡察員ヲシテ検査人ノ行爲或ハ検査ノ當不當等ヲ巡察セシメ尙ホ検査法ヲ一定ナラシムルモノナリ

十八番(真木)此ノ十二條ハ本則第六條第七條ヲ犯シタルモノハ處シ又ハニ處ストアルカ甚ダ了解ニ苦ム如何ナル理由ナルヤ

番外(柳原屬)本案ハ矢張處分ハナスモ此ノ處分ノ程度ハ諮問スル必要ナキ者ト考ヘ删除シタレハ(ツマリ)相當ノ處分ナスノ見込ナリ

八番(山邊)此十二條ハ删除シタシ此ノ如キモノハ規約ニ設ケ置ク方適當ナリ僅カ違警罪位ヒハ廿シテ

處分ヲ受クルノ精神ヲ以テ輸出スルモノ住々ノリ我カ神埼郡ノ如キハ一圓以上百圓以下ト定メアルナリ違警罪位ヒハ廿スル以所ノモノハ千俵輸出ヲスルモノト假定スレハ此ノ検査料ハ八圓ナリ此ノ千俵ヲ無検査輸出スル科料ハ最高一圓二十五錢位ヒナレハ六圓余ノ過剩ヲ見ルヲ以テナリ故ニ違約金ハ其罪料ノ如何ニ依リ非常ノ高低ヲナサレバ効果ヲ見ルコト能ハサルナリ

卅番(香月)番外ニ間フ第十一條ニ縣廳ニ於テ所長又ハ巡察ヲ不適當ト認ルカ又ハ不都合ノ行爲アルキハ改選セシムルトアルカ検査人及補助員ハ何故ニ所長巡察ノ通リナサレルヤ

番外(柳原屬)検査員補助員ハ其人員多數ニテ適當ノ人ナカラザルベシ故ニ規約ニ設ケシムルノ積リ所長巡察ハ其關係重キヲ以テ縣廳ニ於テ改選セシムル方法設ケタル以所ナリ

十三番(花島)番外ニ間フ第十條ノ巡察ハ検査法ノミヲ巡視スルモノナルヤ或ハ月々輸出俵數又ハ手數料ノ如キ金錢ノ出納ニモ關係スルヤ

番外(柳原屬)巡察ハ輸出俵數及手數料違約者等ニ關スル一切ノ事ニ關係セシメ其取締ヲナサシムルノ見込ナリ

廿二番(竹下)十二條ニ處ス處ストアルハ如如

番外(柳原屬)先キニ某番ニ答ヘタル通り諮詢スルノ必用ナキモノト認メ取消シタルモ理事者ハ相當ノ處分ハナス見込ナリ

卅二番(原田)第十二條ニ付キテハ色々ノ説モアルカ本員ハ左ノ如ク修正シタル第十二條本則第六條第七條ヲ犯シタルモノハ規約ノ規定ニ依リ之ヲ處分ス

會頭(田邊知事)他ニ意見ナケレ起立ニ問フヘシ卅二番ノ第十條ニ但シ検査所ノ狀況ニ依リ巡察員増減ヲ得ルトノ但書挿入説ニ賛成ノモノハ起立アレ

賛成者ナシ
十名

八番ノ第十二條ハ刪除説ニ賛成ノモノハ起立アレ
三十二番ノ第十二條ヲ本則第六條第七條ヲ犯シタルモノハ規約ノ規定ニ依リ之レヲ處分ストノ修成説ニ賛成者ハ起立アレ十五名過半数ニ付可決ス

二月十二日午後一時四十五分開會者席廿九名

會頭(田邊知事)開會ヲ令シ午前ノ續キニ付テ三十二番ニ問フ第十二條ノ制裁ヲ(輸出米規約ノ規定ニ依リ處分ス)ト修正スルヲニ決定センカ三十二番ハ第六條第七條ヲ犯シタルモノハ規約ニ適用スベキ意見ナルヤ會頭ノ考ヘニテハ第六條第七條ニ限ラズ(本則ニ違背シタルモノハ輸出米規約ノ規定ニ依リ處分ス)ト修正シ規則全体ニ及ボス方穩當ナラン

卅二番(原田)本員ガ意見ハ第六條第七條ノミニ付テノ別裁ナル精神ナリシモ會頭ノ注意セラレ、如ク本員ニ於テハ異議ナシ

卅一番(鐘ヶ江)第六條第七條ヲ削リ本則ニ違背シタルモノハ云々トスル方可ナリ
會頭(田邊知事)他ニ意見ナケレ午前ノ決議ヲ取消シ(第十二條本則ニ違背シタルモノハ輸出米規約ノ規定ニ依リ處分ス)ト修正スル旨ヲ述ブ

卅一番(鐘ヶ江)輸出米検査規則ハ縣知事ニ於テ其大体ヲ規定シ縣令ヲ發セラレ、トナリ然ルニ其検査方法ハ本案第四條ニ輸出米會ニ於テ議定スベキ明文アリト雖モ縣知事ノ認可ヲ受クベキ規定アレバ知事自ラ定メラレタルモ同様ナリ故ニ規約ヲ以テ定メズ検査方法モ矢張り知事ニ於テ規定セラレ、方相當ノ事ナラン

十三番(花島)輸出米會ハ改良米及米商人組合ヨリ成立チタルモノナレハ本縣ノモノハ異議ナカルベキモ他府縣人處分方ハ如何

卅二番(原田)本員ノ意見ハ輸出米検査規則及輸出米會ニ於テ規定シタル規約ニ違背シ輸出ヲナセバ他府縣人ト雖モ無論處分スベキナリ
七番(島内)本員ハ第十二條ハ總テ削ルノ意見ナリシガ猶刪除スヘキ必要ヲ感ゼンコアリ如何トナレバ

此制裁ヲ設ケザルモ規則ノ成立ヲザル理由ナシ雖然制裁ナルモノハ謂ハユル運用機關ナレバ全ク必要ナキニ非ス故ニ別ニ規約ヲ以テ重キ罰則ヲ設クル方カナラン依テ本案第十二條ハ全ク削除スル意見ナリ廿二番 原田)第十二條ニ付テハ已ニ決定セシメナレバ今更刪除スルトカ修正スルトカ陳述スルハ無用ナルコトナレドモ尙一言シ置ク第十二條ノ制裁ヲ置カザルトキハ輸出米規約ニ從ハザルモノニ對シ處分スル途ナシ故ニ第十二條即チ制裁ヲ設クルハ最モ必要ノ事ナリ

會頭(田邊知事)第十二條ニ付テハ他ニ異設モナキ様ナレバ終結シ是ヨリ輸出米検査費收支豫算方法ヲ諮問ス然シ此ノ方法ハ參考ニ供シタルモノナレバ別段議スル必要ナカルベシ検査所ノ配置方ニ付テハ午前ニ於テ各員ヨリ陳述セラレタル外他ニ置クベキ必要ノ地アルヤ

二番(志波)神埼郡三ツ瀬ハ福岡縣界ニシテ必要ノ地ナレバ全所ニモ設置アラシメテ乞フ

十五番(田代)小城郡古賀津ハ郡内ノ西部ニ當リ船付キノ所ナレバ設置アラシメテ乞フ

四番(柳)養父郡豆津ハ船付ト云ヒ福岡縣ト隣接ノ地ニシテ輸出モ可ナリアル所ナレバ設置セラレダシ

廿四番(乘田)藤津郡竹崎ニ於テハ多良ヨリ二里餘モ隔タリ居レバ不便ナリナリ以テ地形上ヨリシテ検査

派出所ニテモ設置アラシメテ乞フ

會頭(田邊知事)本案ハ是レニテ終ヘ米俵ヲ四斗俵ト改ムルノ得失ニ付テ諮問スル旨ヲ述ブ

會頭(田邊知事)本案ヲ諮問スルニ先ダテ各員ニ述ヘ置カン今依テ四斗俵ニ改ムルコトニ付テハ或ハ一方ニ於テハ非部ニ希望スルモノアリ又一方ニ於テハ數萬圓ノ利益ヲ目斯ニ認メナガラ嫌忌スルモノアリ其取扱方ニ於テモ慣習アリテ此事ヲ實行スルハ或ハ困難ナル場合モアルナラント思量セラレ故ニ前總ノ目的ヲ定メテ着手セザルヲ得ズ斯ク重大ナル問題ナレバ各員ニ於テ其利害ノ點ヲ充分陳述セラレシメテ望ム

卅二番(原田)本案ハ特更ニ四斗俵ニ改ムル事ヲ望ミタルモノナラン本員ハ不賛成ナリ説明ヲ見ルニ一々年平均八十萬俵ノ輸出トアルモ輸出米検査監督者タル八番卅一番ノ説ヲ聞クニ縣内ニ消費スル即チ彼ノ運送米ヲ加算シアルトノナリ果シテ加ヘアリトスレバ此ノ運送米ヲ引去ルニ於テハ現輸米高ハ五十萬カ多クシテ六拾萬俵位ニ減スルナラン左スレバ其利益金モ隨テ減少スル譯デアアル番外ノ説明ニハ三斗四升俵モ四斗俵モ運賃同額ナリト云ハレシモ本員カ他ニ聞合セタル處ニヨレバ決シテ然ラズ又利益金ヲ假リニ三萬六千圓トスルモ輸出ノ最モ多キ六郡ニ割リ當ツレバ一郡ニ就テ六千圓トナル之レヲ又一郡農家一萬戸トスレバ一戸六拾錢平均ナリ成程六拾錢タリ且利益トナル以上ハ改メザルヲ得ザルコトナレ且實際上ニ於テハ決シテ然ラズ農家ニ於テハ取扱ノ困難ト云ヒ之レニ伴フテ諸事ノ損失却テ勝レリ單ニ米商人等ニ於テ幾分ノ利益ヲ得ルノミナレバ到底賛成チナヌ能ハザルナリ

廿番(山本)番外ニ質問ス四斗俵ハ輸出米ノミニ限ルトノ説明ナリシガ果シテ然ラバ小作人カ從來ノ三斗四升俵ヲ以テ地主ニ納入レタルヲ輸出セントセバ地主ニ於テ又更ニ四斗俵ニ改メザルヲ得サル場合トナリテ二重ノ手數ヲ煩ハスモ番外ニ於テハ差支ナキ見込ナルヤ

番外(柳原屬)輸出米ニ限リ四斗俵ト改ムル精神ナリ成程小作者地主トノ間ニアリテハ多少不便ノ点モアルコトナランガ今后其契約ヲ換ヘ四斗俵ヲ以テ拂納ル、事ニスルカ若クハ一般ニ斗量ヲ以テ小作米ヲ定ムルコトニセバ宜シカラシ地主ニ於テモ加地子米ハ悉ク輸出スル譯ニモアラザレバ其幾分ハ管内ニ賣出ストカ幾分ハ輸出スルトカ豫メ定ムルニ於テハ差支ナカラン

廿番(山本)運賃ニ於テ三斗四升俵モ四斗俵モ同一ナリトノ番外ノ説明ナルモ決シテ同一ノ額ニアラズ本員ノ考ヘニテハ三斗四升ト四斗ハ一割五分ノ差アリ之レヲ以テ假令ハ船一艘ノ容積三斗四俵チ一千俵積ムトスレバ四斗俵ハ八百五拾俵ナラデハ積ミガタシ殊トニ海外ニ輸出スルモノハ總テ噸數即チ容積ヲ以テ其運賃ヲ定ムルモノナレバ量多クテ隨テ運賃モ増セリ此ノ如キ理由ナルヲ以テ四斗俵トナシタリトテ運賃ニ於テ利益ヲ得ル能ハザルナリ

番外(柳原屬)本案ニ付テハ當業者ニ付キ實際ヲ調査シタルモノニテ諸富港其他ヨリ輸出スルモノハ三斗四升ト四斗トノ區別ナク矢張一俵ハ一俵トシテ同額ノ運賃ヲ取レリ

九番(稻富)只今番外ノ説明モアリタルガ本員ハ州ニ番ニ同感ニシテ利益ト損失ト對比スレハ却テ損失ノ方勝レリ又廿番ノ説ノ如ク容積ヲ以テ其運賃額モ定ムルモノナレバ假令現今ハ三斗四升俵モ四斗俵モ同額ノ運賃ナリト雖モ一般四斗俵ニ改ムレハ后トニ至リテハ必ズ運賃モ高クナルナラン又陸地運搬上ニ於テモ現今ハ荷車一輛ニ六俵ヲ積載シ居ルモ四斗俵ナレバ五俵ナラテハ一人ニテ運搬スル能ハザレバ是亦同様ニテ取扱上ニ不便アリ又六符俵製サヘ充分行ナハレザル今日ナレバ四斗俵ニ改ムル事ハ費分猶豫セラレシトテ希望ス

一番(西村)番外ニ質問ス本案四斗俵ノ製方ハ矢張六符俵ノ積リナルヤ又叭モ從來ノ通り用ユルモ差支ナキヤ内俵ハ四符ナルヤ又ハ俵ノ總斤量ハ何斤ト定ムル意見ナルヤ

番外(柳原屬)然リ六符製ノ積リナリ現今ノ有様ヲ見ルニ俵製共々粗惡ナルヲ以テ散米多シ故ニ是迄ノ規約ニハ八斤ト定メシモ四斗俵ニ改ムレバ拾斤位ノ量ト定メシムル意見ナリ叭人及内俵ハ從來ノ通りニテ可然見込ナリ

廿二番(竹下)番外ニ質問ス本案ヲ見ルニ四斗俵ト改ムルニ付テハ利益ノ点ノ一部分ノミヲ揚ケタル迄ニテ其ノ害アル点ヲ掲ゲナキヲ以テ見レバ當局者ニ於テ利害共ニ調査シタルコトハ思ハレズ實際調査ナキ事デアルカ一般ニ行フテ利益が多クシテ害少ナク施ラ施ラスベシ之レニ反對ナレバ行フコト能ハ

ザルハ勿論ナルガ本案其ノ利益トナル處ハ單ニ運賃ノミニ止マリ居ルガ如シ一般ニ及ホス利害ハ如何
ン又タ輸出米ニ限リ改ムルトノ番外ノ説明ナルモ之レヲ改タムルトセバ米作者ハ素ヨリ全般ノ事ニ迄
影響セリ又タ一縣ノ俵製ニ於テ二途ニナルハ不都合ナリ他府縣ニ對シテモ恥人ル次第ナレバ寧ロ一般
四斗俵ニ改タムルカ又ハ從來ノ通り三斗四升俵トシテ置ク方ヨリナラシ鬼ニ角其ノ利害共ニ説明アリタ
シ

番外(柳屋屬)取扱上ノ不便ト云フハ一ツノ苦情ニ外ナラズ全國ノ俵製ヲ一覽ハルニ三斗臺ノ俵製ハ九
州ニ於ケルニ三縣ノミニシテ他ハ總テ四斗以上ノ俵製ナリ佐賀縣ノ人ニ限リ柔弱ナルモノニモアラザ
レバ他府縣人ニ於テ現ニ取扱ヒ居ルコトナレバ決シテ取扱ノ出來ザルコトナカルベシ一度慣習ヲ脱セ
バ左程ノ困難ハナキ見込ナリ故ニ詳細其利害ヲ調査スル必要ナシ

卅番(香月)本員ハ廿二番ニ同感ナルガ本案説明ニ四斗ニ改正スレバ年々三萬六千圓ノ利益トナル云々
トアルガ當局者ニ於テハ米作人ノ利益ト見ラレタルモノナルヤ又米商人ノ利益ト見認ラレタルモノ
ナルヤ

番外(柳原屬)直接利益ヲ得ルハ米商人ナリ此ノ商人ガ利益ヲ得レバ其元タル米作者モ隨テ利益トナル
ナリ

七番(島内)俵製ヲ四斗俵ト改ムルニ付テハ各員過半改正ヲ非トスル意見ナリト想フ本員モ非改正ノ方
ニ同感ナリ成程米商ニ於テ利益アレハ隨テ米作者モ利益ヲ得ルハ理ノ當然ナリト雖モ其利害ニ付テ充
分調査ヲ遂ケタル上ニテ實行スルコトニシタケレバ當期迄ハ猶豫トランコトナラフ
四番(柳)廿二番ノ説ノ如ク俵製ヲ改ムルトセバ寧ロ一般ニ四斗俵トナシ輸出米ニ限ラザル方可ナリ然
ルニ七番ノ説ノ通り本案ノ如キハ重大ナル事ナレバ農會ノ如キ實業團體ノ鞏固トナリタル上尙充分其
利害ヲ調査シ以テ漸次施行スルコトニシタキ精神ナリ

二番(志波)四斗俵製ニ付テハ段々各員ノ意見モアリシガ本員モ同様ノ感アリ然レモ日本帝國市場ニ於
テ一度ハ面目ヲ改メザルヲ得ズ官崎及鹿兒島縣下ノ如キ山崎ニ於テヌラ婦女子ノ手傳ニテ四斗俵以上
ノモノヲ取扱ヒ居ルコトナレハ本縣人ニ於テモ一度舊慣ヲ脱セバ取扱ニ於テ困難ナルコトナカルヘシ尤
モ舊慣ヲ脱スルハ甚タ難ケレバ其利益ノ点ヲ研究シ果シテ利益トナレバ規則ヲ布カレ實行ヲ望ムト雖
モ未タ其調査カ付ザルノ今日ナレバ本年迄ハ先ツ猶豫セラレシコトヲ希望ス

會頭(田邊和事)本案ニ付キ參考ノ爲メ其可否ヲ起立ニ問フ旨ヲ述ブ
俵製ヲ四斗俵ト改ムルヲ本年迄ハ猶豫スルコトニ同意者ハ起立アレ 瀧崎起立
會頭(田邊和事)閉會ヲ命ス

于時午后三時十分

十三日午前十時三十分開會

出席會員三十一名

會頭(田邊知事)開會ヲ令シ農會設置準則發布ノ得失ニ付キ諮問スル旨ヲ述ブ
卅二番(原田)抑農業ノ國ノ財源ニシテ此ノ農業ヲシテ改良進步セシムル運用機關ハ即チ農會ナレバ速
カニ本案準則ヲ發布セラレシムルヲ希望ス
十七番(藤川)本員ハ卅二番ノ同感ナリ本縣内各町村處々ニ現今農談會又ハ農事研究會等已ニ設置セシ
モノアリト識ル其組織區々ニシテ一ツモ完全ナルモノナシ過日ノ九州農會第三回總集會ニ於テモ農會
設置ノ必要ナルコトハ滿場一致ヲ以テ決議セシメナレバ此際本案準則ヲ發布セラレ縣・郡・町・村農會
ノ組織鞏固ナラシムルヲ望ム
九番(稻島)番外ニ質問ス本縣ハ藝キニ農事研究會ノ事ニ付テ懸念アリタルコト思フモ彼此相抵觸ハセ
サルヤ其結果ハ如何
番外(柳原)農事研究會設置ノ事ハ縣令ヲ以テ達セラレタルモノニアラザレバ抵觸セズ該會ハ佐賀、
小城、東松浦ノ三部ハ各村悉ク設置シ郡會ノ組織モ完成シ居ルト雖モ他ノ各郡ハ郡内二三村又ハ數村
設ノ置ニ止マリ其業務ニ於テモ區々ニシテ完全ナラズ故ニ此ノ農會準則ヲ布キ以テ各郡各町村悉ク農
ヲ會設置セシメントス

九番(稻富)本案ニ付テハ卅二番ニ賛成ニシテ九州農會ニ於テモ縣、郡、町村、三級ニ分子農會設置ノ事ハ滿場一致ヲ以テ決定シタル位ナレバ本員ニ於テモ速カニ準則發布アリシコトヲ望ム

會頭(田邊知事)農會設置準則發布ノ事ニ付テハ各員賛成ノ說ノミニテ反對者ナクレバ各條項ニ付テ諮問スル旨ヲ述ケ

會頭(田邊知事)先ツ第一條ヲ諮問スル旨ヲ述ブ

番外(柳原屬)各員ノ參考ノ爲メニ説明シ置カン農會設置ノ事ハ輿論トナリテ各府縣中準則又ハ規則ヲ以テ已ニ發布セシ縣モアリ本縣ニ於テモ其必要ニ迫レリ本案ノ内村農會ハ一村限リノ積リデアアル然レテ慣習等ノ爲メ舊部落即チ大字毎ニ設置セザルヲ得ザル場合モアルナランガ夫レ等ノ部落ニ於テハ一ツノ組合ヲ設クルハ差支ナシ又各農會ニ於テ執行スル業務ノ事項ハ其大要ヲ示シタルモノナレバ此ハ必要ノ事項ハ其會ニ於テ適宜規定セシムベキ見込ナリ

十三番(堤)第一條中ニ左ノ通り但書ヲ加ヘタシ

但村農會ハ支會ヲ置クコトヲ得

本員ガ此ノ但書ヲ加ヘタキ所以ノモノハ我東松浦郡ノ如キハ已ニ各大字毎ニ農事研究會ヲ設置シ此ノ會員中ヨリ勲名ヲ撰シテ各村落農事研究會ヲ組織シ又會員中ヨリ撰出シテ郡農事研究會ヲ組織セリ然ル

ニ是迄ノ實況ニヨレハ一大字村ノ會ニテモ數百名ノ會員アリテ其集會スベキ場所サヘナキ有様ナルガ本案ノ如ク土地所有者ハ總テ會員トナルコトノスレバ夥シキ人數トナリテ實業上ノ談話等ニ於テモ周知セシムルニ困難ナリ依テ是非支會ヲ置クコトニシタキ意見ナリ

十七番(藤川)本員モ廿三番ノ說ト大体ハ同感ナリ本條ハ縣農會郡農會町村農會ト三級ニ分ツテアリ然ルニ現今ノ一村ハ町村制實施ノ際ニ於テ數村ヲ合併シタルモノニテ農家數百戸アリ餘リ廣クシテ行ハレガタシ且部落ニ於テ慣習モアレバ支會ヲ置クハ必要ナリ故ニ左ノ但書ヲ加ヘタシ

但其町村ノ情況ニ依リ部會ヲ設クルコトヲ得

四番(柳)只今廿三番ニ第一條ニ但書ヲ加ヘタイトノ意見アリシガ成程好キ様ナレトモ一村ノ部落團體ハ郡農會ト連絡スルモノナリ假令バ兵庫村農會ナレバ其一村貫ヌカ子バナラヌ團體ハ成ベク大ナルヲ貴ブモノナレバ支會トカ部會トカ云フモノヲ設置セザル方可ナリ又支會ヲ置クトセバ隨テ費用ヲ要ス故ニ村農會ノ完全ナルモノアレバ支會ハ不必要ナリ費用ノ點ニ於テモ斯ク關係アルガ廿三番ハ如何ナル方法ヲ以テスベキ意見ナルヤ

廿三番(堤)我郡町村農會費ハ町村費ヲ以テセリ又郡ノ會ニ臨ムニハ其村々ノ適宜ニテ區々ニナレリ我北波多村ノ如キハ四郡ニ分子居ルニ本縣ノ通リ之レヲ一ツノ組織トスルハ一村千戸ノ内少ナ

クトモ七八百余ノ會員アリテ會場トスベキ場所ナキノミナラズ東西ハ二里余モ隔タリ毎レハ實際會合
スルニ困難ナリ支會ヲ置クニ付テノ費用ハ格別要スルモノニアラズ

七番(島内)本員ハ四番ト同感ナリ廿三番ハ第一(條ニ村農會支會ヲ置クコトヲ得)トノ但書ヲ加ヘタシ
トノ意見ナルガ全体得ト云フ字ハ設置シテモヨシ設置セザルモヨシト云フ賦ニ曖昧ナル事ニテ本員ハ
極ク嫌ヒノ文字ナリ本会中ニ農會ノ規則ハ其會ニ於テ定ムベキ事ヲ規定シアレバ但書ヲ加ヘザルモ無
論支會ヲ置クハ差支ナシト思フ團體ハ可及廣大ナラザレバ事業モ亦進歩セザル譯ナルヲ以テ之レニ基
キ本條ノ如ク三級トシテ可ナラン

十四番(山邊)農會ヲ三級ニ分テ尙ホ支會ヲ置ク事ニ付テハ各員ノ説モアルガ第一條ハ大体ヲ定メタル
モノニシテ七番ノ説ノ如ク支會ヲ置クト置カザルトハ其會ニ於テ定メテ可ナリ抑此農會ハ農業者其者
ヨリ成レレ會アレバ縣會等ノ如キ規則的ノモノトハ其趣キヲ異ニセリ本員ニ於テハ但書ヲ加フルノ必
要ナシト思フ

一番(西村)廿三番ハ實檢上ヨリシテ支會ヲ設ケタイトノ説ナルガ我々佐賀郡ニ於テモ廿五年ヨリ農事研
究會ヲ組織シ現ニ實行セリ郡内久保田村ノ如キハ數百戸ノ農家アリ之レヲ一團體トナシ居ルト雖モ會
場其他不便ヲ感スルコトナシ依テ本案ノ通り三級トシテ可ナル意見ナリ

廿三番(堤)一番ニ置開ス本則第二條ヲ見ルニ其區域内農業者及土地所有者ハ總テ會員トストアリ一番
ハ從來ノ農事研究會即チ有志者ノ結合ト同一ノ考ヘバナキヤ本案ノ農會ハ其組織異ナレリ如何

一番(西村)廿三番ノ説モ實檢ナリ本員モ亦我々佐賀郡ノ農事研究會ノ來曆ヲ陳ベタル譯ナリ本案土地
所有者云々ニ付テハ別ニ意見アルナリ由シ廿三番ノ説ノ如ク一村千戸アリトスルモ其内ニハ工業者ア
リ商業者アリ僧侶モアリ醫師モアレバ是等ノモノヲ四分ノ一ト見積リテモ二百五十人ハ減スル譯ナレ
バ會場等ニ於テ左程ノ困難ハアラザルベシ

卅四番(桑田)支會ヲ置ク云々ノ但書追加ハ本員ニ於テモ必要ナシト思フ各大字ニ於テハ農談會ヲ開ク
コトニスレバ可ナリ

會頭(田邊知事)第一條ハ各員ノ説モ盡キタレバ試ミニ採決ヲ起立ニ同テ旨ヲ述ブ
十七番(藤川)前説ヲ取消ス

廿三番(堤)本員ニ於テモ段々考フルニ其會ノ規則ヲ以テ支會設置ノ事ハ定ムルコトヲ得レバ但書ヲ加フ
ルニ及バザルコト思フ依テ前説ヲ取消ス

會頭(田邊知事)第一條ニ付テハ異説ナキヲ以テ原案ノ通り据置キ第二條ニ移ル旨ヲ述ブ
九番(稻富)第二條ノ原案中其區域内ニ土地ヲ所有スルモノハ云々トアルモ一人ニシテ數町村ニ跨ルカ

土地ヲ所有スルモノアリ假令ハ其所有地四ヶ村ニ涉レバ一人ニシテ四ヶ所ノ會員トナラザルヲ得ザル
場合トナル依テ左ノ如ク修正シタシ

第二條 村(町)農會ハ一村(町)ヲ以テ一區域トシ其區域内農業者ヲ以テ組織スルモノトス又其區域
内ニ土地ヲ所有スルモノハ會員タルコトヲ得

但村(町)農會ハ其村(町)ノ情况ニヨリ數町村ヲ聯合シテ設置スルコトヲ得

會頭(田邊知事)九番ニ関フ其區域内ニ土地ヲ所有スルモノハ會員タルコトヲ得トセバ會員トナラザル
モ可ナリ實際差支ヲ來スコトアルガ如ク如何

九番(稻富)其區域内土地ヲ所有スルモノトハ他町村居住ノモノヲ指シタルコトナレバ其者ハ現住町村ニ
於テ必ズ會員トナル譯ナレバ差支ナキ者ヘナリ

卅四番(桑田)第二條ハ單純ニ解釋テ下レ會員トナルベキモノハ農業者ト云フ意味ニテ可ナリ

卅三番(堤)本員ハ九番ニ賛成ニシテ土地ヲ所有スルモノトセバ數町村ニ所有シタルモノハ矢張其町村
毎ニ會員トナラザルヲ得ザル場合トナルノミナラズ會費徵收等ニ於テモ實際差支ヲ生スルコトナレバ
九番ノ説ノ如ク其區域内農業者ヲ以テ組織ス云々ト修正シタシ

一番(西村)番外ニ置開ス本員ハ第二條ノ主意ヲ了解セズ土地ヲ以テ目的トセヨリ將タ實業者ヲ目的ト

シテ定メタルヤ土地所有ノ文字ヲ入レハ農業者ト見テ可ナル趣意ナルヤ
番外(柳原屬)土地所有者ト農業者トハ相異ナレリ土地所有者ハ其町村ニ於テ大ナル關係アレバ必ズモ
會員タラシムベキ見込ナリ

四番(柳)本員ニ於テ第二條中(及)以下ヲ刪除シ農業者ヲ以テ組織スト修正シタシ

卅番(香月)本員モ四番ト同説ニシテ即チ其區域内農業者ヲ以テ組織スト修正シタシ

九番(稻富)本員ハ前説ヲ主張スル譯ニテ原案ヲ修正セザルベカラザル點ハ其費用ニ於テモ數町村ニ涉
レバ其町村毎ニ出費セシバナラズ不都合ヲ來セバナリ

七番(島内)第二條ニ付テハ各員ヨリ修正ノ説モアルガ本員ハ原案ヲ取ル各員ノ説ヲ聞クニ數町村ニ係
リ土地ヲ所有シタルモノアレバ其町村毎ニ會員トナラザルヲ得ザル場合トナル故カラ土地所有者云々
ノ文字ヲ省キタイトノ事ナリ全体此ノ農會準則ヲ發布セラルレバ各町村悉ク設置スルハ勿論ナルガ實
際上ニ於テ甲村ニ居住セシモノニシテ乙丙村ニ所有地アリトテ其各町村ニモ加入セシムルコトハアラザ
ルナリ又第七條ニ會費ハ會員ノ負擔トアリ然ルニ土地所有者ニ於テ勝手ニ任セ置クトキハ其費金モ亦
取ル能ハズ土地所有者ノ權アレバ必ズ其土地ヨリ生スル義務ヲ負擔スルハ理ノ當然ナレバ原案ノ如ク
其區域内ニ土地ヲ所有スルモノハ會員トナラシムル方可ナリ

二番(志波)七番ノ説ノ如ク我神崎郡地方ニ於テハ實際上アル事ナレバ是非原案ノ通り据置タシ
 卅二番(原田)四番卅番ニ賛成ス抑農會ハ土地所有ノ權利義務ニ關セシモノニアラズ農業者其者ノ利益
 ナ圖ル團結ナレバ矢張農業者ヲ以テ組織スル方穩當ナリ
 卅番(香月)先刻七番ヨリ土地所有者云々ノ事ニ付テ權利トカ義務トカ云フ講釋アリシモ本員ハ區域内
 農業者ヲ以テ組織ストセバ可ナリト思フ
 卅一番(繪ヶ江)本員ハ七番ニ同意ナルガ四番ニ對シ質問ス本員ガ聞キ取リタル處ニテハ土地所有者ハ
 即チ農業者ナリ云々トノ説ニテ七番ノ説ト同シキガ如ク今一應説明サセヨ
 四番(柳)土地ヲ所有スルモノハ總テ農業者ト云フニアラズ我三郡地方ノ如キハ福岡縣久留米地方ヨリ
 土地ヲ所有セシモノ多クアリ然ルニ原案ノ如ク土地所有者ハ悉ク會員トナスルハ斯ク他縣人迄カ會員
 トナル如キ不都合ヲ來スノミナラス會費取立ト云ヒ萬事差支テ生スルナリ
 八番(山邊)本員ハ(及ヒ)以下ヲ删除セタシ土地ヲ所有スルモノハ總テ農會員トナスハ不賛成ナリ文字
 上ヨリ見ルモ農會ナレバ農業者ヲ以テ組織セハ可ナリ土地ヲ所有シタリトテ商人トカ工業者トカヲ會
 員トナス必要ナリ
 卅一番(繪ヶ江)八番ニ同フ農業者ノ文字ハ土地ハ所有セ居ルモ農業者ニアラズト云フ譯ナルヤ又他町

村ヨリ土地ヲ所有セタルモノハ入レザト云フ意見ナルヤ

八番(山邊)土地所有者ト云ハバ僅カノ宅地ヲ所有スルモノモ即チ土地所有者ナリ本案農業者ノ會ナレ
 ハ無論商工業者ニ於テ假令土地ヲ所有スト雖モ入ルノ必要ナレ又他町村ノモノモ入レザル見込ナリ
 七番(島内)本員ハ卅一番ト意見同一ナリ四番其他ノ意見ハ其村ニ土地ヲ所有シタルモノハ總テ農業者
 ト云フガ如ク土地ヲ所有セタルトテ農業者ト云フヲ得ス如何トナレバ土地ハ不動物ナリ農業者ハ動物
 ナレバ二種ニ分ル故ニ本案ノ通り農業者ト土地所有者トヲ區別シ明瞭ニ記載シ置ク方至當ナリトス
 卅二番(原田)本員ガ四番ニ同意ヲ表シタリモノハ其成事ヲ賛成セシナリ國ノ發達ヲ斗テ國ノ財源ヲ得
 ルハ農業ニテハ此業ノ改良進步ヲ圖ル會ナレバ農業者ノミノ團結トシ他商工業者等ヲ入ルノ必要ナ
 四番(柳)前説ヲ主張ス作農ト云フハ土地アリテ始メテ農ナルモノ出來ルモノナレバ農業者ヲ以テ組織
 セバ可ナリ
 十三番(花島)農會ヲ起セバ必ズ費用ヲ要ス土地ノ改良進步ヲ圖ル會ニ於タル主ナル費用ヲ以テ其區域
 内土地所有者ニ於テ之レヲ負擔セザルノ理アリテ故ヲ以テ本員ハ原案ヲ取ル精神ナリ
 二番(志波)第二條ニ付テハ先キニ七番ノ説ヲ賛成シ他迄原案ノ通り据置タシ會費ノ如キハ地主ニ及ボ

ス事ニ致シ置カテバナヲス小作人ニ限リ負擔セシムルハ苛烈ナリ先年農事改訂心ナク試作モナキハ
一反歩ノ小作米一石位ナリシニ試作場ノ設置各地ニ行ハレ多數ノ收穫ヲ得ルニヨリ小作者ハ土地ヲ競
フテ下作ヲナシ爲メ小作米モ現今ハ三割以上五割ヲ増スニ至レリ是レ地主ノ得益ナリ假令巴田畑ノ
區改正ヲナスニモ甲ノ地主東京ニアルニモ西京ニアルニモ乙地主一村内農會ノ決議トシテ改正ヲ實施
スルニ當リテハ地主一般ノ承諾ノミナラズ費用ハ土地ニ及サザルヲ得不知何トナレバ得ル處ノ利益ハ
即チ小作米ノ増トナルモノナリ又我地方ハ山林多ク是レモ地主他郡村ニアルモノ多クアリ然ルニ此保
護タルヤ放火ノ事及水源涵養ノ事等ニ注目スル處多クアリ其他未償ノ改良ヲナスニ石灰ヲ使用スルト
使用セザル等ニ付テモ地主ト小作人ハ反對ヲナスモノナレバ大ニ地主ノ關係アリ其他何レノ場合ニ
於テモ無論地主ニ及サレバ依リテ尙地主ニ關係セシムル事ニシヨ

會頭(田邊知事)閉會ヲ合ス

干時正午十二時十五分

午後一時開會 着席三十一名

會頭(田邊知事)開會ヲ合シ午前ノ諮問ヲ續キ第二條ニ付テ諮問スル旨ヲ述ブ

四番(柳)本員ハ午前ニ於テ第二條中修正説ヲ述ベシガ尙熟考スルニ(土地ヲ所有スルモノハ)云々ヲ刪
除セバ善モアレバ前説ヲ取消シ原案ヲ取ル

會頭(田邊知事)卅二番ニ問フ四番ハ前説ヲ取消シタルガ四番ニ同意ナセル卅二番ハ如何

卅二番(原出)本員ハ取消サズ土地ヲ所有シタルト否ヤトニ關セズ農業ヲナス者ヲ以テ組織セバ可ナリ
卅番(香月)四番ガ前説ヲ取消シタルトハ今始メテ承知シタガ本員ハ前説即チ修正スルノ意見ナリ土地
所有者ハ悉ク會頭トナスコトモセバ他町村ヨリ僅少ノ宅地ヲ有スルモノモ入レザルベカラザル際ニテ却
テ錯雜ナリ故ニ其地方ノ農業者ヲ以テ組織シヨ

會頭(田邊知事)第二條村(町)農會ハ一町村ヲ以テ一區域トシ其區域内農業者ヲ以テ組織スルモノトス
又其區域内ニ土地ヲ所有スルモノハ會員タルコトヲ得但村(町)農會ハ其村(町)ノ情况ニヨリ數村(町)
ヲ聯合シテ設置スルコトヲ得ト云フ九番ノ修正説ト第二條中(及其區域内ニ土地ヲ所有スルモノハ
聯合シテ設置トス)ノ二十字ヲ刪除シ其區域内農業者ノ下(ヲ以テ組織ス)ノ六字ヲ挿入スル卅二番卅番ノ
説ト原案ノ通リ據置説トノ三説ニ別レタリ依テ試ムニ採決ヲ起立ニ問フ旨ヲ述ブ

第一 九番ノ説ニ同意者

起立一名

第二 卅二番ノ説ニ同意者

起立四名

原案ニ同意者

起立多数

會頭(田邊知事)原案ニ賛成者多数ニ付原案ノヲ通過置ク旨ヲ述ブ

會頭(田邊知事)午前ニ引續キ第三條第四條ヲ議セテラレタキ旨演告ス

九番(稻富)本縣ニハ基肄養父三根郡ノ如キ合併シテ一郡役所ヲ設ケアルカ基肄養父三根郡ノ如キハ小ナリト雖モ一郡ナルカ第三條ニ依レバ一郡ニ郡農會ヲ置クトアレバ矢張一郡一ヶ所ノ農會ヲ設ケルヤ番外(柳原屬)郡農會ハ一郡役所管轄區域ニ一ヶ所ノ置クニシテ基肄養父三根郡ハ即チ此ノ三郡合併シテ一郡役所ノ區域内ナルヲ以テ一郡農會ヲ設ケルノ積リナリ

九番(稻富)郡農會ハ一郡一ヶ所トノミトアリテ番外ノ説明ノ通り一郡役所ノ管轄區域ヲ郡農會區域トスルカ如キ意味ハ少キモ見エズ其ダ了解ニ苦ムモノアルヲ以テ便宜ノ爲メ左ノ但書ヲ加ヘタシ

但郡農會ハ數郡ヲ聯合スルコトヲ得

十四番(山邊)縣農會ニハ郡農會ヨリ若干名ヲ撰出シテ其會員トストアルカ理事者ハ凡ソ何名位ノ見込ナルヤ

番外(柳原屬)理事者ニ於テハ至名乃至五名ノ積リナルモ尙ホ各員ノ意見ヲ以テ定メタキ見込ヲ以テ若干名トナシ置キタリ

九番(稻富)只今番外ノ答辨ノ通りナレバ本員ニ於テハ若干名トアルカ五名ト定メ置キタシ

卅四番(桑田)本員ハ原案ノ通り若干名トナシ置キタレ如何トナレハ其町村ニ依リ三部落アルモノハ三人トシ五部落アルモノハ五人ト云フカ如キ部落ノ數ニ依リ撰出スルコトセザレバ他日其撰出法ニ困難ヲ生スルノ慮トアレバナリ

十四番(山邊)撰出人員ヲ若干名トスルハ探ラサルナリ其人員區々トアリ本則ニ規定ナキヲ以テ一人撰出スル郡モアリ或ハ五人撰出スル郡モアルガ如クアリテ甚ダ不都合ニ付キ五名ト定メ置キタレ

一番(西村)九番ニ賛成ス此レ唯タ若干名トシテ置クトキハ其人員區々ニナル恐アリ人員ヲ定メ置クハ必要ナリ

卅四番(桑田)本員ハ若干名トシテ其人員ハ郡農會ニ於テ定メルコトナシタシ

會頭(田邊知事)九番ノ若干名ヲ五名トナスルハ第三條第四條トモ五名トナル意見ナレキヤ

九番(稻富)然リ兩條トモ五名ト定ルノ意ナリ

會頭(田邊知事)外ニ意見ナレバ採決ヲナスベシ第三條ニ郡農會ハ數郡ヲ聯合スルコトヲ得ト云フノ但書ヲ挿入スルノ九番ノ意見ニ賛成ノモノハ起立アレ

起立少数

廿三番(提)郡農會及縣農會ノ會員若干名トアルモ五名ト定メ置キタキ某番ノ説モア我カ東松浦郡ノ如キハ己ニ郡農會ノ組織アリ其會員モ百有余名アレハ郡農會ノ人員ヲ町村農會ヨリ五名ツ、置ケルハ甚ダ差支ハヤ見込アルヲ以テ郡農會員ノ事ハ若干名トシ縣農會員ハ一郡農會ヨリ五名ツヲ撰出スルヲト定メタシ

廿番(山本)廿三番ニ賛成ス

十四番(山邊)本員ガ疑キニ述ベタル主意モ廿三番ト同一ニシテ郡農會ハ若干名トシ縣農會ノモ五名ト定ムルノ精神ニシテ即チ第三條ハ原案ノ通りニテ第四條ノ若干名五名トナスノ積ナリ

會頭(田邊知事)最早意見モ盡キタレハ決テ採ルベシ

第二條第四條ニアル若干名ヲ五名トナスノ九番ノ説ニ賛成者ハ起立アレ

二名 少數

第三條ハ原案ノ通りニテ第四條ノ若干名ヲ五名トナスノ十四番ノ説ニ賛成ノ者ハ起立

五名 少數

然レモ少數ニ付原案ノ通り据ヘ置事トス

續キテ第五條ト第二條ノ二ヶ條ヲ讀セラレヌ

十七番(藤川)第五條ノ但書ヲ既ニ農會ノ業務ヲ執行スル農業團體ハ本則ニ依リ會名ヲ撰ムベシト修正シタル如何トナレ既バニ縣下ニハ農會トカ研究會トカ設タル處モ多數アルカ如シ然レニ原案ノ通り可成トスルカハ改名ヲ爲サ、ルモ致方ナキヲ以テ其一定ヲ期スル爲メ必ズ此際改名スル事トシタシ

廿二番(原田)本員ハ第五條ノ但書ヲ刪除シタシ如何トナレバ現今各村ニ於テ組織シタル農會アルニ此ノ農會設置準則ヲ發布セルカハ其發布ノ時ハ農會設立ノ始メナルノ考ナリ故ニ第五條ニ何カ農會ト稱スベシトアル以上ハ無論既設ノ農會等ノ名稱ヲ改メサレバナリ

廿二番(竹下)廿二番ノ但書刪除ノ事ハ尤ナル事ナリ本員モ賛成ヲ表ス

會頭(田邊知事)外ニ意見ナクレバ第五條ノ但書ヲ現ニ農會ノ業務ヲ執行スル農業團體ハ本則ニ依リ會名ヲ改ムベシト第十七番ノ修正説ニ賛成者ハ起立 一名

第五條ノ但書ヲ刪除スルノ卅二番ノ説ニ賛成者ハ起立 多數

但書刪除説ニ賛成者多キヲ以テ刪除スルヲニ決ス

第七條第八條ヲ討論アレ

十八番(真木)第七條各農會ノ費用ニ付修正シタシ如何トナレハ縣農會ノ費用迄町村農會ニ於テ負擔スルハ甚タ困難ナルヘシ故ニ縣農會ノ費用ハ縣農會ノ負擔トシ郡農會ノ費用ハ郡農會ノ負擔トシ町村農

會ノ費用ハ町村農會ノ負擔トスルコトニシタシ

會頭(田邊知事)十八番ニ開テ縣農會ノ費用ハ郡農會郡農會ノ費用ハ町村農會ノ負擔ナルガ今十八番ノ修正ノ通りニスルハ縣郡農會ノ費用ハ他ヨリ求ムルノ意カ

十八番(真木)然リ他ヨリ求ムル積リニテ縣農會ノ費用ハ地方稅郡農會ノ費ハ郡組合費ニ仰クノ精神ナ

十四番(山邊濱雄)第七條ノ修正說モアルカ本員ハ原案ニ賛成スルモノナリ一體此ノ第十條ハ其大體ヲ示セシモノニシテ其運用ニ至テハ如何トモ活用シ得ヘキモノナレバナリ

卅一番(鏡ヶ江)番外ニ質問ス各農會ノ費用ハ農縣會ハ郡農會郡農會ハ町村農會ノ負擔トアルガ郡農會ハ自己ノ費用ヲモ町村農會ニ仰クノ場合ナルニ縣農會ノ費用總負擔スヘトアルガ如何ナル都合ナル

番外(柳原屬)原案者ノ主意ハ町村農會ノ一體カ出來夫レヨリ郡農會縣農會ト段々ト組織成リタルハ其費用モ亦次順次負擔スルハ順序ナルヲ以テ定メタルモノニシテ別段意味アルコトヲ示スナリ

卅二番(原田)第七條ニ於テハ矢張十八番ノ意見ノ通り町村農會ハ町村ニ郡農會ハ郡ニ村農會ハ縣ニ於テ其費用ハ負擔スルコトニシタレ如何トナレバ元來農會ヲ設ケルハ一戸一人ノ爲メ設ケルモノニ非ス一

村ノ關係アル處ノ土地ヨリ產物ヲ多ク產出セシメントノ目的ナリ故ニ其費用ヲ其町村ニ於テ負擔スルハ決シテ不當ニアラス郡ニ於テモ其郡ノ農事進歩ノ爲メニ圖ルモノナラバ其郡ニ於テ費用ヲ負擔スルハ當然ナリ縣ニ於テ亦然リ爰テ以テ縣郡村農會ノ費ハ各其縣郡村ニ於テ負擔トスルハ道理上然ルヘキモノト思考ス依テ十八番ニ賛成ス

卅四番(桑田)本員ハ原案ニ賛成ス

卅一番(鏡ヶ江)第七條ノ費用ガ最モ困難ニシテ本案ノ大體ニ開スルモノナレバ其費用ノ出處ヲ慥カメ置カザレバ折算本會ニ於テ議了シタルトモ水泡ニ屬スルヤモ計ラザルニ付本條ニ付テハ尙熟考ヲ要シテ決シテ後進ニナレタシ

會頭(田邊知事)卅一番ノ請求モアレバ第七條ハ後進トス

十五番(田代)本員ハ第八條ノ本條文ヲ廢シ但書以下ハ删除スルノ精神ナリ

卅四番(桑田)第八條ヲ左ノ如ク修正シテ各農會ニ於テ執行スル業務ノ概要左ノ如クシテ但書ヲ削リ各農會ノ末ニ其各農會ニ於テ必要ト認ムル事項

卅三番(藤)本員ハ三十四番ニ賛成ス

九番(稻富)本員ハ三十四番ニ賛成ス

十七番(藤川)本員モ三十四番ニ賛成ナルカ此ノ業務ノ事ハ高成詳細ニ各事項ヲ掲グル方必要ナリト考
フ唯其大休ノ事ナレバ農事改良進歩ヲ計ルトスルモ選支ナカルヘキモ此條項ハ農事改良進歩ヲ計ルノ
目標ナレバ其組織ニ必要ナル事項總テ掲グタキ見込ナリ故ニ左ノ如ク更正増加シタシ

三項ノ米質改良トアルヲ農産物品質種子ヲ改良スルトニ更正ス

八項ノ山林保護ノ事トアルヲ森林保護及水源涵養ノ事ト更正ス

十四項ノ次ニ左ノ三項ヲ加ヘタシ

土地區畫改正ノ事

肥料改良増加ノ事

牛馬飼育及牧草蕃殖ノ事

各地農會ト氣脈ヲ通スル事

十五番(田代)各町村農會開設スル以上ハ農事上ニ就テハ充分注目シ施行スヘキハ施行シ其後益ヲ計リ
其宜シキニ從フヘケレハ其會ノ意見ニ放任スル方適當ナルヘシ故ニ各項目ハ刪除シタシ

廿七番(篠原與百)第八條ノ各項目ノ中ハ十七番ノ追加モアリシガ本員ハ尙ホ牛馬繁殖ノ事ヲ挿入セラ
レタシ

各地方ニ於テ牛馬交尾ヲナサシメ繁殖ヲ計リ又一方ニハ牛馬購求ノ資本貸付ノ方法ヲ定ムル

之レハ已ニ九州農會ニ於テモ議決セシノミナラズ縣下ニ最モ必要ナレバ此項ハ是非トモ加ユルコト、
シタシ牛馬購求資本貸付ノ事ニ就テハ我村ニ於テ行ハル、如ク請會法ニ依ルハ最モ輕便ナリ我村ニ於
ケル牛馬ノ數ハ數年前迄ハ六十七八月ノ村ニテ五十匹ナリシガ二十月ガ三十月ニ達シ仕立テ其金ヲ以
テ漸時購求シツ、アルカ本年ニ於テハ六十二三匹ニナリタリ此ノ法ハ輕便ニ最モ行ハレ易キ事ト思考
ス故ニ盡考迄ニ陳述ス

九番(稻富)各農會ニ於テ執行スル業務ノ事項ヲ詳細掲グルコトニスレハ多々掲グタキ見込ナルモ末項ニ
其他各農會ニ於テ云々トアル以上ハ選支ナカルベシ故ニ三十四番ノ説ニシテ早ク決テ採ラレタシ
會頭(田邊知事)外ニ意見ナケレバ採決ス

十八番ノ但書刪除説ニ賛成ノモノ起立

一人

三十四番ノ第八條各農會ニ於テ執行スル業務ノ概要左ノ如クシテ各項ノ末ハ其他各農會ニ於テ必要
ト認ムルノ事項ヲ加ユルノ説ニ賛成ノモノハ起立

十六人

十七番ノ米質改良ノ事ヲ農産物品質種類ヲ改良スルコト及ヒ山林保護ノ事ヲ森林保護及ヒ水源涵養ノ
事ト更正説ニ賛成者起立

三名

十七番ノ土地區畫改良ノ事肥料改良増殖ノ事牛馬飼育及牧草繁殖ノ事各地農會ト汽脈ヲ通スルノ四
項ヲ挿入スル説ニ賛成者ハ起立アレ

廿七番ノ各地方ニ於テ牛馬交尾ヲナサシメ繁殖ヲ計リ又一方ニハ牛馬購求ノ資本貸付ノ方法ヲ定ムル
下ノ一項ヲ挿入説ニ賛成者ハ起立アレ起立 三名

卅四番ノ更正説ニ賛成者ハ過半数ナルモ其他少数ナリ故ニ卅四ノ更正説ハ可決シ其他ハ原案ノ通り
卅四番(兼田)第八條ハ議決後ナレバ執行スヘキ業務ノ内ニ加ヘ置カサルベカラサルモノハ既ニ施行シ
テアル規則モアルナレバ彼ノ改良米組合ニ關スルノ件ナリ目下該組合規則ハ有名無實ナル有様ナ
ルヲ以テ將來果シテ行ハルベキ否ニ付テハ甚ダ氣遣シキ次第ナルヲ以テ農會ノ執行スヘキ個條トシテ
左ノ如ク設ク置キテ

四項ノ次ニ
先般既開議決改良ノ事
卅二番(原田)卅四番ノ建議ハ現ニ施行シタル改良米組合規則ニ依テ行フヘキ事件ニシテ固ヨリ農會ニ
對テモ關係ナキニ非ラサルモ既ニ夫々改良ノ方法ヲ規定シアルナレバ其ノ規則ニ依ラザルヘカラズ
若シ建議者ノ意見ヲ採用スルコトスレバ一事件ニテニ様ノ規則ニ依ラザルヲ得ザル譯ナレバ甚ダ不都

合手生オケケハ三十四番ノ建議ハ福富オラサルモノト意思ス
條(田邊知事)三十四番ノ説ニハ賛成ナキヲ以テ消滅ス

第七條尙本條ニ議決第九條第十條ヲ議決セタリ
十五番(田代)第九條第十條ヲ左ノ如ク修正シタリ

各農會ニ於テ規則ヲ確定シタルハ一村農會ハ村長郡農會ハ郡長縣農會ハ縣廳ノ認可ヲ受クベシ
但シ各農會ニ於テ規則ヲ變更シタル時モ本條ニ依ルベシ
以上更正ノ以所ハ我カ小城市ノ如キハ郡農會ハ郡役所ニ於テ準則ノ如キモノヲ設ケラレ夫々制定ノ上
ハ郡長ノ認可ヲ得ヘキトナリ居レバ今又變更ノ事等アリテハ農民ノ感情ヲ傷クノ恐レアルヲ以テナ

卅番(香月)番外ニ問フ各農會ノ規則ヲ確定シタルトハ縣廳ノ認可ヲ受クベシトアルガ縣郡村農會ニ區
別ナキハ如何ナル理由ナルヤ
番外(柳原屬)別ニ主意ナリ村農會及郡農會ノ如キモ本則ニ依リ設置スルモノナルヲ以テ縣廳ノ認可ヲ
得ルコトナシタリ

九番(稻富)第九條第十條トモ原案ヲ採ル如何トナレバ其規則ヲ一定セシムル必用モアリ旁々縣廳ニ於

ヲ認可スルコトハ相當ナルモノト認メタルナリ
會頭(田邊知事)外ニ意見ナクレバ決テ採ルベシ

十五番ノ第九條第十條ニ更正シテ各農會ニ於テ規則ヲ確定シタルトキハ村農會ハ村長郡農會ハ郡
長縣農會ハ縣廳ノ認可ヲ受クベシ

但各農會ニ於テ規則ヲ變更シタル時モ本條ニ依ルト云フノ說ニ賛成ノモノハ起立 二人
少數ニ付原案ヲ据ヘ置ク

第七條ハ此儘ニ議スヘキモ纏リ方困難ナラン故ニ暫ク休會ス
午時午後二時二十分

全午後二時五十分開會

會頭(田邊知事)第七條ヲ議スルコトニセシ

卅番(香月)第七條ノ費用負擔ノコトハ十八番ノ修正說モアルカ如クナレモ開演セシニ依リ左ノ如ク修正
シタシ
町村郡縣農會ノ費用ハ其農會ノ負擔トス

八番(山邊)卅番ニ請求ス町村郡縣農會トアルテ各農會トシテハ如何

卅番(香月)本員ニ於テ差支ナシ訂止スルコトニセシ

一番(西村)本員モ十八番ノ說ニ賛成ス町村農會ハ其村ノ負擔トシ郡農會ハ其郡ノ負擔トシ縣農會ハ地
方稅ヲ仰テノ精神ナリ町村農會ハ其會ノ負擔ヲモ困難ナルベシ然ルニ縣郡農會ノ費用迄負擔スルハ甚
ク難シ其費用モ試作場トカ病虫害驅除等ヲ施行スル様ノ事アレハ多少ノ費用ヲモ要スヘシ郡農會ノ費
用モ各郡組合ヲ組織スル片ハ支出スルニハ難カラザルヘシ特ニ縣農會ノ費用ハ地方稅ニ仰テトスルモ
僅カニ百圓内外ニテ足ルコトナレバ敢テ難カラサルベシ今第七條ノ答申書トシテ縣農會ニ對スル豫算書
提出ス來ル廿九年度ヨリ地方稅ヲ以テ支辨セラルコトニナシタシ

第七條ニ對スル答申 一番(西村) 二番(志波)

縣農會ニ對スル費額ハ總テ地方費ヨリ支出アランコトヲ仰カント欲ス

縣農會組織ニ關スル豫算

- 一金八十圓 農會員一部各十名トシテ一名一日日當五十錢ニシテ延人員八十名ニ對スル二日分
- 一金六圓 會場借家料一日金參圓ニシテ二日分
- 一金三圓 書記一名一日金一圓五十錢ニシテ二日分

一金八十錢 小使一名一々金二十錢ニシテ四日分

一金五圓十錢 講案百枚決議案二百枚一枚ニ付金一錢七厘ニシテ三百枚分

一金五圓 開會ニ要スル筆紙墨炭茶代其他

一金二圓 郵便費

合計金百〇一圓九十錢

會頭(柳田書記官)十八番ノ意見ハ矢張地方税ヲ以テ支辨スル見込ニシテ一番ノ説ト同一ナルヤ

會頭(柳田書記官)十八番ノ意見ハ矢張地方税ヲ以テ支辨スル見込ニシテ一番ノ説ト同一ナルヤ

十八番(真木)本員ハ地方税或ハ組合費或ハ寄付金ヲ以テ支辨スルヤ否ハ後決ノ手段ニシテ單ニ各農會ノ費用ハ其農會ノ負擔タル事ニ修正スルノ意ナリ

會頭(柳田書記官)一番ハ矢張地方税或ハ部組合費ヲ以テ其費用ハ支辨スルコトモナシキ意見ナリヤ

一番(西村)本員ハ大体ニ就テハ十八番ノ修正説賛成ニシテ今費用支出ノ事ニ付陳述シタル事ハ單ニ本員ト希冀ヲ陳ヘタルモノナリ

會頭(柳田書記官)外ニ意見ヲケレハ採決セン

十八番(真木)江ノ採決前ニ於テ十八番ニ一應等子儘キ事アリ少シク文字ノ異ナルノミナルカ州番ノ

修正ノ如クナシテハ如何

十八番(真木)本員ニ於テハ差支ナシ

十八番(真木)江ノ採決前ニ於テ十八番ニ一應等子儘キ事アリ少シク文字ノ異ナルノミナルカ州番ノ

會頭(柳田書記官)州番ノ第七條ヲ各農會ノ費用ハ其農會ノ負擔トストノ修正説ニ賛成ノモノハ起立アリ

二十五人ノ多數ニ付修正説ニ決ス

會頭(柳田書記官)最早議案ヨリ提出セシ諮問案ハ議了セシガ爰ニ建議案ニツアリ直ニ議スヘキヤ否ヤ

尤モ一トツハ極ク簡單ナルモ一トツハ三十有餘ケ條ヨリ成ルモノナリ

八番(山邊)兎ニ角建議案ヲ朗讀セラレタル後採ルヘキモノナルヤ否ニ付一應考案ヲナシ採ルヘキ

モノナレハ明日ニ議リ採ルヘキモノニアラサレハ直ニ議了セタシ

書記建議案ヲ朗讀スル左ノ如シ

建議案 建議者 四番(柳) 賛成 二番(志波)

一牛馬交尾所設置ノ丁

但一郡内ニテ所成ハ三ヶ所ニシテ其郡内牛馬繁殖ヲ企圖ス

理由

一牛馬交尾所設置ノ丁

但一郡内ニテ所成ハ三ヶ所ニシテ其郡内牛馬繁殖ヲ企圖ス

理由

但一郡内ニテ所成ハ三ヶ所ニシテ其郡内牛馬繁殖ヲ企圖ス

明治廿七年九月以來軍用ニ農馬ヲ使用セラレタル爲メニ農馬ノ減シタル勢カラス且又牛頭ヲ屠ル
日ヲ追テ増數夫レガ爲メ近來農牛馬ノ價額三割以上高價ニ墜リ農家ノ困難云フ可カラズ故ニ前件設
置セラレシトテ希望ス

一各郡ニ蠶業巡回教師ヲ置ク

但一郡一名宛教師ヲ聘雇シ蠶業改良發達ヲ謀ル

理由

本縣ノ蠶業未タ改良ニ至ラサルハ養蠶業製絲業其區別セザルガ故ナリ依テ其利益又少クナリ蠶業ノ
興發ハ國家ノ増長ニ關スル論ヲ談ス且九州各縣ノ蠶業ニ比較シテ本縣ノ劣等タル衆人確知スル
處ナリ依テ前件ノ教師聘雇セラレシトテ希望ス

會頭(柳田書記官)今一ツノ建議案モ朗讀セシムヘキヤ

卅一番(津ノ江)今朝讀セラレタル建議案ハ必要ナル事件ナルノミナラズ他ニ一ツノ建議案モアルトナ
レバ本日ハ是レニテ休會シ建議案ハ活版ニ付シ配布セラレタシ

會頭(柳田書記官)本日ハ是レニテ休會シ建議案ハ明日讀スルトニセシ

千時午后三時四十分

二月十四日午前十時五分開會者席三十人

會頭(田邊知事)縣廳ヨリ提出セシ諮問案ハ最早結了セシガ爰ニ建議案ニツアリ本日ハ之レヲ讀スル
トモセヨ然レニ牛馬交尾所設置ノ事ハ極メテ單簡ナレバ民設管内米麥關係生絲織物品評會ノ事ハ稍々長キ
モノナルカ直ニ議セラル、モ差支ナキヤ或ハ考案ノ爲メ暫時休息スルトニスルヤ

八番(山邊)此ノ品評會等ノ如キハ是迄年々アリシ事ナレバ其例ヲモ少ナカラザルモノナレバ各員ニモ
略ホ承知ノ事ト思考セラレ故ニ考案ノ時間ヲ與ヘラレストモ議スルニハ困難ナカルヘシ直ニ議セラレ
シトテ乞フ

會頭(田邊知事)外ニ意見ナケレハ牛馬交尾所ノ事ヨリ議セラレ先ツ大体ニ付本建議案ヲ採ルヤ否ヤニ
付議セラレタシ

四番(柳)本員ハ此ノ建議案ヲ提出シタルモノナルカ明治廿七年十二月ノ全國農事大會ニ於テモ牛馬交
尾設置及牛馬貸付法ノ事議定セシ位ナレハ更ニ深キヲ要セサルモ理由ニ掲ケタル如ク農馬ニ不足ヲツ
ケ我カ三郡地方ハ大ニ困難ノ状態ナルモ本縣ニ於テハ一トシテ牧場ト稱スヘキ者ナク僅カニ東西松浦
郡ニ於テ幾分ツ、養成シテ、アトト聞ケリ然レニ九州各縣ノ内宮崎大分鹿兒島福岡ノ如キ稍々盛大ニ

牛馬ノ繁殖ヲ計畫セリ。特ニ福岡縣宗像郡ノ如キハ一面牧場ニシテ牛馬改良會アリ。又宮崎縣ノ如キハ組合ヲ設テ其改良ニ熱中セリ。此牛馬繁殖上ニ就テハ十七ヶ縣ニ付取調ヲナシタルモノアレバ此度ハ失念シタレハ後日最適切ナルモノト見込モノ三四ヶ所分ヲ縣廳ニ提出スヘキ見込ナリ。故ニ本日ニ於テハ詳細ナル收支ノ計算等明了セザル限モ之レアルヘケレトモ宜敷シテ賛同ヲランコトヲ希望ス。

八番(山邊)四番ニ開フ此ノ牛馬交尾所ノ事ハ本會ニ於テ採ルコトナシ置テモ其費用ノ點ハ如何ニスルヤ明了セズ或ハ地方稅ヲ仰クヤ郡ノ組合費ヲ依頼スルヤ篤志者ノ寄付金ヲ以テスルヤ其點ニ付明答ヲランコトヲ乞フ。

四番(柳)本會ニ於テ昨日迄ニ農會設置準則ヲ讀了シタレハ必ス發布セラルコトト思考ス果シテ發布セラレタル時ニハ縣郡村農會ヲ組織セラルレハ其業務トシテ施行スルノ見込ナリ。又費用ノ件ハ本員カ取調ヘタル十七縣ノ内地方稅ヲ以テ施行アル處ニシテ其他ハ皆テ株金或ハ貯金ヲ以テナセリ。故ニ本員ニ於テ地方稅ノ補助ヲ受テズ農家ノ團結成ルニ於テハ幾分ノ貯金等ヲナサシメ以テ其ノ費用ニ充ツルノ精神ナリ。

八番(山邊)等四番ノ説明ノ通りナレハ農會ノ成立スルガ故ニ此建議案ヲ提出セタルト云フニ過キズ然ラハ本會ニ提出セラレシヨリ農會ニ提出セラルコト方穩當ナラン其主意トハ組織シタル致シ方ニテハ非ラサレヤ又四番ノ説明ノ通りナレハ本會ニ於テ購スベキモノニ非スト思考ス。

四番(柳)八番ノ云フ如ク或ハ筋違カモ知ルベキト雖モ本會ハ管下勸業上ニ對シ諮問ナルトニ就キ管申スルモノナラバ牛馬ノ繁殖上ニ付議了シ置テモ決シテ不當ナラズ又本會ニ於テ本案ヲ採ルコトニ議決シ置クハ農會組織ノ曉ニ於テモ農會ニ於テ施行上牛馬交尾所設置ノ事ト既ニ諮問會ニ於テ議決シ管下ノ輿論トモ云フハケレハ數多ノ便利ヲ得ル際ナレハナリ。

十四番(山邊)建議者ナリ番外ナリニ質問ス牛馬ノ交尾所ヲ設置スルトケルモ農家ニ於テ牛馬ノ飼養ヲサレハ其功ヲ見ル能ハサルナリ然レバ牝牛馬ヲ飼養アラサレハ其功ヲ見ル能ワサルナリ然レバ牝牛馬ヲ飼養シアルコト於テハ交尾所ヲ設ケサルモ敢テ差支ナカルヘキ東條郡ノ内ニテモ名古屋呼子湊村ノ如キハ牝馬ヲ多ク飼養スルカ故ニ交尾所ナシト雖モ種掛料ヲ採リ一種ノ營業ヲナシ居レリ爲メニ幾分殆々年々増殖シアルハ然ルニ小城佐賀ノ如キハ牝牛馬ハ容易ニ見受サルが果シテ飼養ナキモノトスレバ交尾所ヲ設ルモ其功ヲカルハ故ニ牝牛馬ヲ飼養スルコト先ツ獎勵シ而ル後チ繁殖上ノ事ヲ計畫スル之レ順序ナリトモ縣下果シテ養牛ノ牝牛馬ヲルキ。

番外(柳原)此ノ建議案ノ牛馬交尾所設置ノ事ニ付テハ番外ニ於テモ一應考スル事アルガ本縣ノ牛馬數ハ三万八千ニ滿タサル故ナルカ其内ニハ乘馬ノ如キモ幾分入り居ルヲ入ル。此内ニ牝馬ハ東條備

郡ニ幾分アルノミニテ他郡ニハ餘リナシ先ツ本縣ニハ牝馬ハナシト云フ有様ナレハ牝馬ヲ農家ニ飼養セシムル必要ヲ知ラセシメ牝牛馬ヲ飼養セシムルハ農馬ニ使フルハ知ラズキ々繁殖モ出来ル譯ナレバ本縣ニハ交尾所設置ヨリ或ハ牝馬使用ノ必要ヲ獎勵スルカ適當ナランカト考ヘラルハナリ

十四番(山邊)番外ノ管辨ノ如ク東松浦郡ノ外他ハ牝牛馬少ナシトスレバ牝ト使役上ノ比較ハ牝ハ妊ミタル片ニ差支アルモ平常ハ異ナルヲナシ特ニ牝牛馬ハ婦女子ニテ充分使用セラレノ便アリ又毎年子ヲ産マシムル片ハ親馬多少衰弱スル由ナルガ隔年ニ子ヲ産マシムル片ハ親馬ニモ差支ナカル由ナリ經濟上最モ得策ノ機思考ス故ニ交尾所設置ノ事ヨリ牝馬飼養ヲ獎勵スルノ最モ急務ナリ

二十番(香月)四番ニ開フ此ノ牛馬交尾所ヲ設ケ産出シアル地ハ從前九州ニ於テハ鹿児島及平戸等ニシテ此地方ノ産馬カ乘馬或ハ農馬ニ通スルトカ云ヘリ各郡ニ設ケ交尾所ヲ設ケ生出セシモノモ充分乘馬ナリ農馬ナリニ適當シ能ク其方カニ堪ヘルモノナルヤ又親馬カ妊ミシヨリ子ヲ産ム迄ハ其勞力ヲ中止スル譯ケナルカ其間費用ト子馬トノ價額ヲ差引計算スル片ハ如何ナルモノナルヤ

四番(柳)二十番ノ間ヒヨ答フルカ差引計算ノ如キハ唯今持子居ラサルガ福岡縣ノ宗像郡等ニ於テ飼養スル處ノモ、如キハ折々村外ニ放飼シ居ルモ牧場等ニ設ケ飼養スル片ハ幾分飼シト雖モ農馬ニハ差支ナシト云ヘリ

貳番(志波)唯今三十番ヨリ四番ニ對シ質問アリシカ我カ地方舊藩ノ時分ハ牛ニセヨ馬ニセヨ繁殖上ニ付キテハ充分行届キ居タルモノナルカ凡ソ八九十日ニテ分娩セリ種ヲ入レテヨリ一周間位ハ勞働セシメサル方宜シキ事ナレバ妊シ中ハ少シク注意スルノミニテ分娩ノ前日迄使役スルモ差支ナシ其飼養上ニ於テハ別ニ六ツク敷キ事ニ非ス費用モ亦必要セザルナリ少シク注意シテ殘物ナドヲ給スレハ事足ルナリ一ヶ年ニ至レハ一兩二分凡ソ米五俵ノ代價ニ相當スル買却代ナリシテ其分妊セシムルニ於テハ舊藩ノ國庫ヨリ一頭ニ付五十錢三十錢即チ凡米一斗位ノ謝禮ヲ與ヘラレ如斯能ク行ハレ居ルカ維新ノ際ニ廢セラレ種馬モ引上ケラレタリ其後村協議ニテ行フトシ其村ニ二頭彼村ニ三頭ト云フカ如クニシテ飼養セラレシカ脊振村ニテ三十頭位ハ年々生育セリ戸毎ニ一頭位ヲ飼養スル位ハ余リ費用ヲ要セスシテ糞汁代等ニテ年々十圓ハ大丈夫ニ得ル處ノ計算ナリ故ニ充分獎勵アラタシ特ニ民間ニモ牛馬繁殖ノ事ニハ余程着眼セルノ有様ナリ

十三番(花島)此ノ牛馬交尾所ノ事ニ付キテハ段々説明アリシカ我カ西松浦郡ハ舊藩收ト云フモノ牧島外ニ三ヶ所アリシカ此ノ牧場ニハ多クノ牝馬ヲ飼養シ夫レ々方法アリテ交尾セシメ之レヲ飼養シ乘馬トシテ藩廳へ上納セリ爰テ以テ見ル時ハ本縣下ニ於テモ適セサルヲハナカルヘシト思考ス

番外(柳原屬)此ノ牛馬交尾所設置ノ主意ハ希望スル事ナルカ飼養上計算ニ就テハ山間ハ僅カノ費用ニ

シテ足ルヘケレハ佐賀地方ハ多ク米ノ糠及藁ヲ以テ飼料トス今二三少年ニ於テ取調タル者ヲ平均スル
并ハ一ヶ月一圓貳拾錢以内ニテ飼養セラル、ナリ此飼養代金ハ人夫六人ヲ雇ヒタル位ナリ然レ其勞動
ノ事ニ至ツテハ六人位ノ比ニ非サルヘシ其肥料ヲ生マシ一匹ニ付キ畑ナレバ三反歩ノ肥料ハ充分ナ
リト云ヘリ各員ノ意見ニ違ヘ置ケナリ

三十二番(原田)建議者ニ問フ牛馬交尾所設置ノ事ハ農會ノ施行スヘキ業務ノ項目中ニ入レタキ希望ナ
ルヤ又本會ハ幸ノ時期ナルヲ以テ建議セラレタル次第ナルヤ

四番(柳)本員ハ農會設置準則ニ加ヘタキ主意ニアラズ然レ牛馬交尾所設置ノ事ハ最も重要ナル事ハ
今更申サストモ明了ナレリナリ又養蠶巡回教師雇入ノ事ハ年來ノ希望ナレハ爰ニ提出シタル以所ナ
ガ牛馬交尾所設置ノ事ハ本員ニ於テモ諸君ノ賛成ヲ得ルハ農會組織ノ階第一ニ此ノ事ヲ着手セラル
ベナラントノ考ヘナリ

九番(稻富)唯今四番ノ説ノ如クナレハ縣廳ヨリ勸進トシテ建セラルモノニモ非ラズ又農會設置準則ハ
加入スル時ニテモ非ラズトノ事ナルカ本員ニ於テ牛馬繁殖ノ事ハ必要ナルヘシト考テ然レニ地方人民
ニ於テハ未ダ其必要ヲ知ラサルモノ少シ其効用ヲ地方人民ニ知ラシメ以テ其適否ヲ試ムル爲メ施行ス
ルモノトシ左ノ通り更正シ其費用ハ地方税ヲ以テ充ラレリト希望ス

但シ地方税ヲ以テ縣下必要ナル一二ヶ所ニ之レヲ設置シ以テ管内農民ヲシテ其必要ヲ知ラシメ漸次
民衆牛馬繁殖ノ結社ヲモ設置スル機運屬アラレトナラシム

二十五番(藤原)本員ハ建議者ナル四番ニ相談シタル牛馬交尾所設置ノ事ハ必要ナラシカ唯モ設置スル
ヨリ本會ニ於テ購シ置タルニモハ熱心依然ナルヲ以テ牛馬繁殖ノ事ヲ知事ニ建議スルトノ主意ニ致
シテ如何ニヤ

三十番(藤江)廿五番ノ四番ニ相談セラレタルモ本員ハ建議案ヲ賛成ス則チ牛馬交尾所ヲ設ケ牛馬
ノ繁殖計ルハ必要ナルハ必要ナルヲ以テ本會ノ輿論トシテ該交尾所設置所ノ事ヲ知事ニ建議スルモ
ノホレハ其ノ費用ハ知事ノ見込ヲ以テ地方税ヲ以テスルカ國庫ノ補助ヲ仰クヤ或ハ有志者ハ勤メテ成
立スル機運屬セラル、ヤ費用ノ点ニ付論究スルノ必要ハナキモノナリ

四番(柳)三十一番ノ説ノ通り會頭ニ建議案トシ提出シタル事ナレハ其費用上ニ付テハ如何ナル費用ヲ
用ヒラレハ本員ハ其成立ヲ希望スルモノナリ

七番(島内)此ノ建議案ニ付建議者ノ説明ヲ聞ケバ其必要ヲ感スナラシ然レモ本員ハ同意スルヲ得ス
八番ノ説明ノ如ク精細ノ取調ナリ經費も明カニセス爰ニ提ガレハ大ニ第二十三番ハ有志家カ勤
業ヲ勤ムルハ慈母ノ手ヲ養成スルニ心持タルハ申ス迄モナキナリ親心ヲ以テスルハ他府縣ニ後レ

ヲハナラヌトノ愛心制スヘカラス其制ヲヘカラス愛心ヨリテ採リ様ニ依リテハ大ナル弊害アルハ
 假リニ我カ子ハ幼稚ナリ進歩セシメ且ツ大ナラシメントノ慈愛心ヨリテ過大ノ滋養物ヲ食セシムル
 ノ等事アレハトテ其時期ヲサレバ如何ニ慈愛心アルトモ其効ヲ奏セサルノミナラズ却テ大害ヲ醸ス
 ヘキナリ勸業上ニ於テモ亦タ其ノ度合ヲ見ルガ第一ナリ無理ヤリニ成サシメントスルハ不可ナリ今日
 ニ於テ其ノ親タルモノハ其度合ヲ見サルヘカラス農業ノ度合ハ何レニ於テ見ルヤト云フニ農會之レナ
 リ農會設置準則モ爰ニ發布セラルヘシ發布セラレ農會組織成リタル上其度合ガ高キカ低キカ農會ニ
 發表スヘシ能ク其ノ度合ニ依リ誤ラサル處ノ處治ナカルヘカラス故ニ本案ニハ賛成シ難シ

會頭(田邊知事)意見ナケレハ決ヲ探ルヘシ

九番ノ但書修正案ニ賛成者ハ起立 一人

原案賛成者ハ起立アレ 十九人 過半數

會頭(田邊知事)牛馬交尾所設置建議案成立セシカ此ノ交尾所ノ事ニ付テハ從來考案ナキニアラサルカ
 其土地ノ狀況ニ依リ一利一害ハ免ルカレサルモノニシテ愛知或ハ宮崎ノ如キ種々ノ改良ヲ加ヘ其結果
 モ充分ナルカ右兩縣ノ如キハ孰レモ山地ニシテ能ク其繁殖ニ適スルモノト云フヘキモ本縣ノ如キ平地
 多キ處ニハ或ハ適セサルヤノ疑ヒナキニ非ラズ特ニ有ル所ニ於テハ西洋牛ニ改良セシカ其地ハ山間ノ

事ニテ水田ハ一反歩ハ畝歩位ニ極メ小區畫ヲナシアルヲ以テ改良牛ノ肥大ナルタメ使役上差支ヲ生シ
 牛ハ改良ノ爲メ肥大ニ且ツ美麗ナルモノヲ産出スルニ至リシモ却テ價額ハ下落シ折角ノ改良モ水泡ニ
 屬シタル實例モアルヲナレバ能ク土地ノ狀況ヲ鑑ミ果シテ繁殖ニ適スルヤ否ヤ篤ト調査ノ上除々ニ着
 手スヘキ事ト信スルナリ故ニ參考ノ爲メ爰ニ一言ヲ置クナリ

會頭(田邊知事)二第項ノ各郡ニ蠶業巡回教師ヲ置クトニ移ル旨ヲ告ク

三十三番(中野)本員ハ蠶業巡回教師ヲ置クトハ原案ニ賛成ス我カ東松浦郡ニ於テハ組合ニ於テ百五十
 圓ヲ議決シ多少ノ經驗アルモノ貳名ヲ撰拔シ西ヶ原ヘ派遣シ卒業ノ上ハ郡ノ巡回教師ニ充ツルノ考ヘ
 ヲ以テ夫レ々々計畫シツ、アリ

四番(柳)本縣内各郡ニ蠶業巡回教師一名宛々置クトノ說ナレハ一昨年ニシテ當局者ノ賛成ヲ得縣會ニ
 提出セシモ終ニ否可セラレタルカ九州各縣ニ於ケル蠶業ノ景況ヲ見ルニ製絲業者ト蠶蠶者トハ各分業
 ヲナセルモ本縣ニ於テハ蠶蠶製絲相混同シテ少シモ進歩スルヲナク輸出生絲ノ如キハ一括モ製スルモ
 ノナク實ニ不進モ甚ダシキモノナリ故ニ此ノ蠶絲業ノ改良進歩ヲ計ルモノハ最モ必要ナルヲナレバ其
 費用ハ地方費ヲ以テ支辨セラレントヲ希望スルナリ

三十番(香月)本員ハ建議案ニ大体ハ大ニ賛成スルモノナルカ建議者ニ問フ一昨年蠶業巡回教師ヲ地方

費ヲ以テ雇ルハ許審ヲシタル時ハ一市八郡ニ一名宛キテ雇ハ入ル、事ト成シ居リシカ本案ニ市ヲ除キシハ如何ナル事ナレヤ

四番(柳)各郡トセシハ誤リニテ市ノ一字脱落シタルヲ以テ挿入アリタリ

九番(稻富)番外ニ問フ昨年ハ地方税ヲ以テ蠶絲講習所ヲ設ケラレシト聞ケリ其結果ハ如何ナリシヤ

番外(柳原屬)昨年ハ地方税ヲ以テ各郡市ニ工女養成所ヲ設ケシカ各郡執レモ豫定ノ工女數ヨリモ余程超過シ充分ノ好結果ナリシ事ニ述ヘ置カン蠶業巡回教師ハ廿六年度一郡市ニ一名ヲ置クコトシ其費用ヲ縣會ニ請求セシモ不幸ニシテ否決セリ

二十四番(桑田)四番ニ問フ蠶業巡回教師ヲ雇ハ入ルハ蠶業ノ期節ノモノナレヤ

四番(柳)蠶業巡回教師ハ凡ソ二月月ナレガ發生二十日以前ヨリ雇ハ入レ推立ヨリ初眠迄ノ事ハ蠶兒飼育中最モ注意スヘキ時期ナルヲ以テ其發生前ニ於テ其取扱ニ付充分教授スルコトヲ蠶兒發生ヨリ四十日モアレハ大概上條スルモノナレバ前後六十日ニテ充分ナリ

三十一番(高岡)四番ニ打合スルカ蠶業巡回教師ノ費用ハ是非トモ地方税ニセサルモ牛馬交尾所ト同様其費用ハ知事ノ勝手ニ任セテ如何ニヤ

四番(柳)第一番ノ請求モアレハ一ヶ年ハ充分ノ教師雇ハ入レタキ見込ナレハ隨テ費用モ多額ヲ要スヘ

ハ故ニ可成地方税ヲ以テ支辨スルコトニシタリ

三十一番(高岡)江)本建議案ニハ其注意ハ第一項ノ牛馬交尾所設置ノ事ト同様ナレハ賛成スルモ四番ノ説ノ如ク地方税ヲ以テ其費用ヲ支辨ストスレハ賛成シ能ハサルナリ如何トナレバ地方經濟ハ全体ニ付其緩急ヲ計ラサルヲ得ケレハナリ故ニ爰ニ議了シ置クモ其効ナカルヘシ

二番(志波)四番ノ教師雇ハ入レノ期限ニ付替辨モアリシガ本員ハ本案提出者一人ニシテ夫レ等ノ事迄ハ打合セ置カザリシカ本員ノ考ヘハ養蠶期ハ二月月ニテ可ナルモ氣候寒冷ナル爲メ適セザル處ノ藤原郡多良山小笠郡ノ天山神崎郡ノ春振山ノ如キハ春蠶ニハ適セサルモ夏蠶ニハ最モ適當ナル處ナレバ此等原野ノ如キ處ヲ開墾シ養蠶ヲ飼育スルコト最モ必用ナリ然ルニ此ノ夏蠶飼育上ニ於テハ種々ノ危険アリテ養蠶ヨリモ甚ク困難ナルヲ以テ最モ熱陳ナル教師ヲ雇ハ入レ教授スルハ緊要ナルコトナルヘシ故ニ養蠶教師ノ外育蠶教師ヲモ雇ハ入ルコトニシタリ

三十番(香月)四番ニ相談ス本員ハ三十一番ト同意ナルガ四番ニ於テモ牛馬交尾所設置ノ事ト同一主意ニシテ如何

二十六番(米倉)蠶業巡回教師ヲ置クコトハ賛成ナレモ縣會ニ其費用ヲ請求スルモ到底出來ザルコトナルヘシ故ニ此ノ費用ヲ地方税ヨリ採ルト云フ精神ヨリシテ賛成シ能ハサルナリ

四番(柳)此ノ蠶業巡回教師履ヒ入レニ付テノ費用ハ地方費ヲ以テ支辨シタキ精神ナリ其ノ成ルト成ラサルハ豫定シ能ワサルコトニシテ未奉ノ話ナリ地方税ニ此ノ費用ヲ仰クコトスルモ到底出奉スト云ヘル縣會議員モアレトモ果シテ出来ナルヤ否ヤハ爰ニ断定シ能ハサルコトナリ又タ他府縣ニ於テ地方税ヲ以テ支辨スル處モアレバ決シテ不當ナル事ニハ非ラサルモ二十一番ノ示シ通リ牛馬交尾所設置ノ事ト同一主意ニテ建議スルコトナシテモ差支ナシ

十四番(山邊)費用ノ事ニ付地方費ヲ以テ支辨ストカ或ハ支辨セサルトカ種々ノ説モアレトモ縣會議場ニ非ス如何ニ費用ノ事ニ付喋々スルモ無用ノ事ナルヘシ故ニ其施行上ニ付テハ知事ノ意見ニ任セ本件ハ必要ナル事ナレバ建議スルト云フノ主意ニスルガ穩當ナラン

八番(山邊生芳)番外ニ聞フ本縣ニハ蠶絲業組合ナルモノアリテ其事務所ヲモ設ケアル以所ハ蠶業ノ改良發達ヲ計ルノガ主眼ナル目的ナルヘシ然ラハ其蠶絲業巡回教師カ必要ナルコトナレハ他ノカヲ借ルノ必要モナク組合ニ於テ聘雇スル方可能思慮スルナリ

番外(柳原屬)先年來唯今規則ニ依リ各郡市トモ其組合ヲ設ケアリシモ殆ト有名無實ニナリタル處モアリ該事務所ハ固ヨリ本業ノ改良發達ヲ計ルヘキモノナルモ費用徵收充分ナラズ特ニ昨年十二月ニ蠶絲業取締規則ヲ發布更正セラレタルカ今日迄ハ佐賀郡ノ組合組織成リ三郡ノ如キハ規約認可ヲ出願中其

他ハ未ダ組織ナラサル位ナレバ其ノ費用ヲ負擔シ教師ヲ雇ヒ入ル、等ノ事ハ到底出奉ザルヘシ

十八番(真木)佐賀郡蠶絲業組合モ既ニ組織シ組合中ニ蠶業ニ熟達ナルモノ四名ヲ雇ヒ入レ各村毎ニ巡回教授スルコトニ決定ナシ居ル位ヒナレハ本員ニ於テモ賛成ナルガ但書ニ一郡一名トアリテハ四名ヲ雇ヒ入ルトナレバ差支ヲ生スルニ付但シ書キヲ更正シタシ

但シ各郡ニ教師ヲ聘雇シ蠶業改良發達ヲ謀ル

會頭(田邊知事)外ニ意見ナケレハ念ノ爲メ採決ヲナシ置クヘシ十八番ノ但シ書キ更正シ各郡ニ教師ヲ聘雇シ蠶業改良發達ヲ謀ルト云フノ意見賛成者ハ起立 五名

建議案賛成者ハ起立 廿三人

多數ニ付建議案ニ決ス

會頭(田邊知事)四番ニ聞フ四番ノ建議案ナル民設管内米麥衛生系續物品評會規則ハ知事ニ建議トシテ之ヲ發布セシメ永遠ニ施行セシムルノ意ナルヤ

四番(柳)此ノ規則ハ本年開設スヘキ豫定ナル品評會ノ規則ニシテ本年一度限りノモノナルカ後日審査員等撰出法等ニ異存アリテハ折角ノ品評會開設モ不結果ヲ來ス機ノ事アリテハ相濟サルニ付幸ヒ各郡市ヨリ出席ノ事ナレハ此規則ヲ相談シ置キタキ見込ヲ以テ提出シタル事ナリ

會頭(田邊知事)然ラハ本會ニ於テ議スヘキモノニ非ラズ唯タ諸君ノ相談ノミニテ宜シカルヘシ後刻相
談アラタシ

會頭(田邊知事)諮問案ハ此レニテ全ク終了セルヲ以テ閉會スル旨ヲ告ク一同敬禮ス干時午後零時二十
分ナリ

決議案左ノ如シ

決 議 案

輸出米検査規則

- 第一條 輸出米トハ縣下產出ノ米ヲ他府縣又ハ海外ニ輸出スルモノヲ云フ
- 第二條 輸出米ハ左ノ各所ニ検査所ヲ置キ検査ヲ爲スヘシ
(検査所ノ位置ハ別紙ニアリ)
- 第三條 検査所増設ノ必要アルハ縣廳ノ認可ヲ經テ検査派出所ヲ置キ得
- 第四條 輸出米検査方法ハ輸出米會ニ於テ議定シ縣廳ノ認可ヲ受クヘシ
- 第五條 輸出米會議員ハ各郡市ニ於テ改其米組合米商組合ヨリ二名宛選出シ聯合會ヲ開クヘシ

第六條 輸出米ヲ爲スモノハ總テ検査所ノ検査ヲ受クヘシ

第七條 輸出米検査所ナキ地ヨリ輸出セントスルハ最寄検査所ニ申告シ所員ノ派出ヲ請ヒ検査ヲ受
クヘシ

第八條 輸出米ヲナスモノハ總テ検査所定規ノ手数料ヲ差出スヘシ

第九條 各検査所ニ検査人及補助員ヲ置クヘシ其検査人及補助員ハ第五條ノ議員ニ於テ撰定シ縣廳ノ
認可ヲ受クヘシ

第十條 各検査所ヲ統轄スル爲メ佐賀市ニ事務所ヲ置キ所長一名巡察六名ヲ置クヘシ其所長巡察ハ第
五條ノ議員ニ於テ撰定シ縣廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條 縣廳ニ於テ所長又ハ巡察ヲ不適當ト認ムルカ又ハ不都合ノ行爲アルハ改撰セシムルヲア
ルベシ

第十二條 本則ヲ犯シタルモノハ規約ノ規定ニ依リ處分ス

佐賀縣輸出米検査費収支豫算

一金四千五百八拾貳圓

但輸出米檢查費

此 譯

金千六百拾四圓

但各檢查所ヲ統轄スル爲メ輸出米檢查事務所ヲ置ク其事務費

內

金百八拾圓

但所長一名月給拾五圓

金五百七拾六圓

但巡察六名給一名月八圓

金八拾四圓

但書記一名給月七圓

金拾圓

但所長一名巡回年三十日

支出高

金六百圓

但巡察一名年二百日巡回一日金五拾錢

金四拾八圓

但小使一名給月四圓

金拾六圓

但事務所賃家月參圓

金六拾圓

但雜費月五圓

金貳千九百六拾八圓

但各檢查所費

內

金千九百貳拾圓

但檢查人三十二名給一名月五圓

金五百七拾六圓

但検査所三十二ヶ所家賃一ヶ所月壹圓五拾錢 金參百八拾四圓		但右全雜費一ヶ所月壹圓 金六拾四圓		但右全検査器一ヶ所貳圓 金貳拾四圓		但見本米八俵	
検査所位置							
養父郡	新濱	養父郡	鳥栖	養父郡	江口	全	豆津
		全	中原	基肄郡	田代		

三根郡	江見津	神崎郡	浦田津	神崎郡	詫田	全	三ヶ瀬
佐賀郡	諸富	佐賀郡	早津江	佐賀郡	住吉	全	高尾
全	久富	全	西今宿	全	相應	全	高尾
小城郡	三丁井桶	小城郡	牛津	小城郡	下砥川	全	一本松
全	一本松	全	古賀津	全	下小田	全	一本松
杵島郡	住ノ江	杵島郡	六角	杵島郡	下小田	全	一本松

佐賀市	下今宿	全	全	全
白幡	畑津	全	全	
伊万里	黒川	西松浦郡	西松浦郡	楠久
濱崎	瀬島	東松浦郡	東松浦郡	
多良	嬉野	全	全	
鹽田	鹿島	藤津郡	藤津郡	濱
佐留志	大町	全	全	
深浦	深通	全	全	新橋
馬田	高橋	全	全	廻里

第九十四

一金六千四百圓

収入高

佐賀縣輸出米平均一ヶ年八十万俵ノ検査料壹俵金八厘

差引

金千八百拾八圓

殘餘

此内ヨリ検査人手當其他臨時費等四百圓以内支出見込ニシテ其他非常凶作等ノ爲メ積金トス

農會設置準則

- 第一條 農會ヲ分子ノ村(町)農會、郡農會、縣農會、ノ三級トス
- 第二條 村(町)農會ハ一村(町)ヲ以テ一區域トス其區域ヲ農業者及ヒ其區域内ニ土地ヲ所有スルモノハ總ノ會員トス
- 第三條 郡農會ハ一郡ヲ以テ一區域トス其區域内ノ各町村農會ヨリ若干名宛ヲ撰出セシメ之レヲ郡農會ノ會員トス

第四條 縣農會ハ本縣ヲ以テ區域トス其區域内ノ各郡農會ヨリ若干名宛ヲ撰出セシメ之レテ縣農會ノ會員トス

第五條 會名ハ何々村(町)、郡、縣、農會ト稱ス

第六條 各農會ニ會長幹事其他ノ役員ヲ置キテ會務ヲ處辨ス其役員中某々ノ職ヲ名譽職トシ某々ノ職ヲ有給職トスルハ其會ノ適宜トス

第七條 各農會ノ費用ハ其農會ノ負擔トス

第八條 各農會ニ於テ執行スル業務ノ概要左ノ如シ

- 一 農談會開設ノ事
- 一 試作場設置ノ事
- 一 米質改良ノ事
- 一 病蟲害像防驅除ノ事
- 一 農産物品評會ノ事
- 一 種子交換會ノ事
- 一 立毛共進會ノ事

建議成立案

一 牛馬交尾所設置ノ事

一 肥料共同購買農産物共同販賣ノ事

一 山林保護ノ事

一 農間ノ餘業ニ適スヘキ副産物及製造品調査ノ事

一 農具改良ノ事

一 勤勉貯蓄ノ事

一 農事統計ノ事

一 農事ニ關シテ官廳ノ諮問ニ應スル事

一 各農會ニ於テ必要ト認ムルノ事項

第九條 各農會ニ於テ規則ヲ確定シタルトキハ縣廳ノ認可ヲ受クベシ

第十條 各農會ニ於テ規則ヲ變更シタルトキハ其度々縣廳ノ認可ヲ受クベシ

一各郡市ニ蠶業巡回教師ヲ置ク事
 但一郡市一名宛教師ヲ聘履シ養蠶業改良發達ヲ計ル

丁	行	誤	正	丁	行	誤	正
五七	一〇	作農	仰農	九一	六	貸家	家賃
五七	一五	所有シタル	所有シタル	八八	一	置タルヤ	置タルヤ
四三	九	現輸米高	現輸米高	八六	三	出タルヤ	出タルヤ
四二	八	現輸米高	現輸米高	八四	九	凡ソ	凡ソ
四二	二	廿四番	卅四番	八三	九	凡ソ	凡ソ
四二	六	異設	異設	八二	一	其制ヲ	其制ヲ
四一	一	別裁	制裁	八一	八	勤メテ	勤メテ
三九	一四	如如	如何	八〇	七	設置所ノ事	設置所ノ事
三九	二	住々	往々	八〇	一	二三ヶ年	二三ヶ年
三七	一〇	真本	真木	七八	一〇	其方力	其方力
三七	九	各意	各員	七八	九	農馬ニ通スル	農馬ニ通スル
三六	一三	所請	所請	七七	一四	居ルアルヘシ	居ルアルヘシ
三六	八	住々	住々	七七	一	考ヘタルナリ	考ヘタルナリ
三五	八	速カ出ニ來	速カ出ニ來	七五	一〇	確シタルトキハ	確シタルトキハ
三四	一三	柳原屬	柳原屬	七五	一	交尾設置	交尾設置
三三	一三	最近	最近	七〇	三	第十條ニ	第十條ニ
三一	八	如何	如何	六九	一〇	確シタルトキハ	確シタルトキハ
三〇	一四	改良等	改良米等	六七	一三	改良スル「ニ」	改良スル「ニ」
二九	一〇	更正シタル	更正シタル	六七	七	詳細	詳細
二八	二	挿セラレ	挿入セラレ	六六	一	萬成	萬成
二八	四	其通	其通	六六	三	縣ニテ亦然リ	縣ニテ亦然リ
二六	九	越	越	六五	三	縣ニテ亦然リ	縣ニテ亦然リ
二六	四	通	通	六四	一三	郡ニ村農會	郡ニ村農會
二五	一〇	廿四番	卅四番	六三	六	改メサレハナリ	改メサレハナリ
二五	四	故ニ農	故ニ村農	六三	四	農會アルニ	農會アルニ
二四	一〇	品評スルモノアリ	品評スルモノナリ	六三	二	既ハニ	既ハニ
二三	一三	舉行スルモノ其効ナリ	舉行スルモノ其効ナ	六二	七	吾子チ名	吾子チ名
二三	一	合審	合審	六一	五	區々トナリ	區々トナリ
二二	一	各農會附則ニ於テ	各農會ニ於テ	六〇	八	一ヶ所トノ「ミ」ト	「ミ」ト
二二	七	各縣同様	各郡同様	六〇	三	午前ニ引續キ	午前ニ引續キ
一九	二	參國	參國	六〇	二	ノ「通」	ノ「通」
七	九	本案ヲ改セント	本案ヲ改セント	五八	九	ナ依シ	ナ依シ
六	一三	受クベシ	置クベシ	五八	九	ナ依シ	ナ依シ

正誤

明治廿八年七月一日印刷
明治廿八年七月二日出版

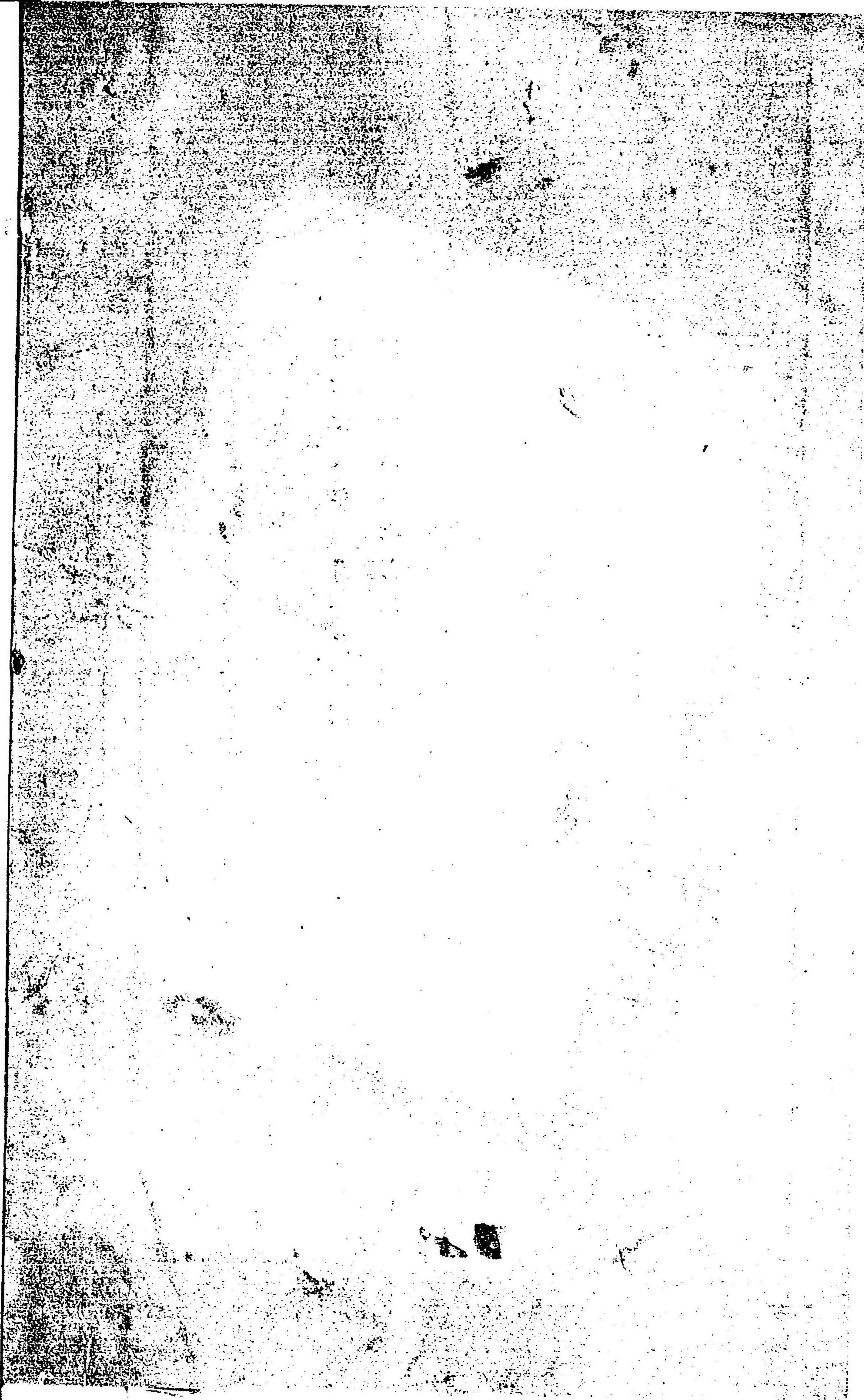
佐賀縣內務部第五課

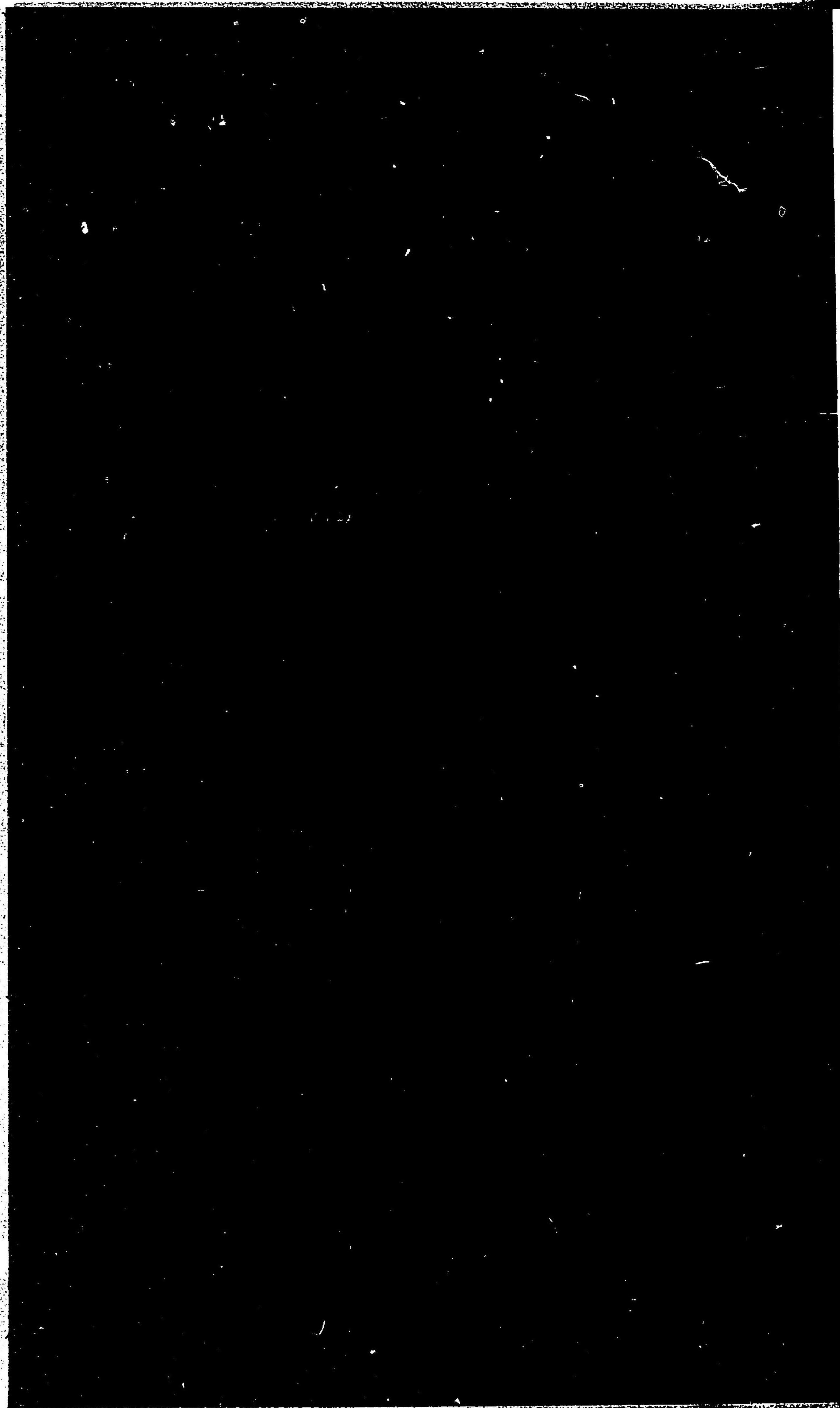
佐賀縣佐賀市松原町七番地

印刷者 澁谷安治

佐賀縣佐賀市松原町七番地

印刷所 尙友舍





Faint, illegible text on a small white label at the bottom left of the black redacted area.

特45
209

第六回
勸業諮問会日誌
国立国会図書館

